

トスルニハ其夫ノ死シタルコトヲ證明スルカ又ハ裁判所ノ判決ニ因テ死シタルコトヲ公告スルマテ一二ニ從テ出金スルコトヲ要ス

四 裁判所ノ判決ニ因テ離縁ト爲リタル婦ハ婦ヨリ夫ヲ故サラニ見放シタルニ非サレハ其後一二ニ從テ出金ヲ爲シ救助金ヲ保存スルコトヲ得又ハ其救助金高ヲ二十五ヲ以テ割ルコトヲ得ヘキ高ニ減スルヲ得減セントスルニハ其受クヘキ救助金ノ高ヲ申出ヘシ

五 社員ノ死シタルコトノ明カナル時ハ入社證ト左ニ掲グル情況ニ從テ救助金ノ高ヲ確定スヘシ
入社後一年内ニ社員ノ死シタル時ハ其婦ハ救助金ヲ受クルコトヲ得ス二年目ニ死シタル時ハ救助金ノ三分ノ一ヲ受クヘシ三年目ナレハ三分ノ二四年目ヨリ金額ヲ受クヘシ

右ノ如ク決定シタル救助金ノ高ハ若シ社員ノ自殺シタル場合ニハ半額ヲ給スヘシ

若シ寡婦ノ再婚ヲ爲シタル時ハ再婚中ハ救助金ノ半額再ヒ離縁トナル時ハ復タ金額ヲ受クヘシ併カラ再婚ノ離縁カ婦ノ方ニ罪アル時ハ其再婚ノ夫カ死スルマテ半額ヲ受クヘシ

然ナカラ再婚シタル婦ハ救助金ノ半額ト他日金額ヲ受クル權ヲ放棄シテ一定ノ金額ヲ受クルコトヲ得一定ノ金額ヲ受ケントスルニハ再婚後三箇月内ニ其事ヲ申出且規則ニ定メタル醫師ノ健康證書ヲ以テ申出ツヘシ此場合ニ於テ婦ノ三十歳未満ナル時ハ六年分ノ救助金三十歳以上四十歳以下ナレハ四年分ノ救助金四十一歳以上ナレハ三年分ノ救助金ヲ二度ニ半年毎ニ拂フヘシ婦ノ求メニ因リ百

分ノ四ノ利息ヲ拂ハントスレハ次ノ期日ニ一時ニ拂フヘシ

六 此金額ハ二度ニ受取ルルモ雖モ婦ノ所有ニシテ其期日前ニ婦死スルトモ其相續人ニ拂フヘシ一定ノ金額ヲ定ムルニハ次キノ期日ノ婦ノ年齢ニ從ヒ六箇月未滿ノ月ハ之ニ算入セス滿六ヶ月以上ハ之ヲ一年ト看做スヘシ

再婚ノ婦ノ前婚ニ因テ得タル二十歳未滿ノ子アルモハ滿二十歳ニ至ルマテ又ハ死スルマテハ其救助金ノ他ノ半額ヲ給スヘシ滿二十歳ニ至ルカ又ハ死シタル者ノ半額ハ其他ノ子ニ給スヘシ然レモ母ノ存生中ニ限ルモノニシテ若シ死シタルモハ救助金ハ消滅スヘシ
七 救助金ハ半年毎ニ四月一日ト十月一日トニ先拂ヲ爲スヘシ故ニ男ノ死シタル後ノ次ノ期日ニ半年分ヲ先拂スヘシ其後婦ノ拂ヒ期

日ニ生存中ハ救助金ヲ拂フヘシ

八 救助金ハ期滿失權トナルモノニシテ拂ヒ期日後四年間之ヲ求メサルモハ貯蓄所ニ沒收スヘシ

○第三十五條附錄

Ⓐ 何號社員ノ氏名

半年ノ出金及ヒ五分ノ利息ヲ付シ爲替ヲ以テ入社金ヲ入社證ニ從テ何年何月後六ヶ月ノ爲メ金貨ヲ普國ノ銀貨百分ノ十三ト三分一ニ當ル銀貨幾許ヲ已ニ拂ヒタルコトヲ證ス

何號何月 伯林 貯蓄所 出納 本局

Ⓑ 何號社員ノ氏名

半年ノ出金ヲ入社證ニ從テ何年六ヶ月ノ爲メ金貨ヲ普國ノ銀貨

女ノ年齢	タール	一年出金高	男ノ年齢	タール	一年出金高	女ノ年齢	タール	一年出金高	男ノ年齢	タール	一年出金高
五八	二七	一六	五二	四〇	二二	四九	四六	三三	四六	三三	二二
五九	二六	一五	五三	三九	二一	五〇	四五	三二	四七	三四	二一
六〇	二五	一四	五四	三八	二〇	五一	四四	三一	四八	三三	二〇
六一	二四	一三	五五	三七	一九	五二	四三	三〇	四九	三四	一九
六二	二三	一二	五六	三六	一八	五三	四二	二九	五〇	三五	一八
六三	二二	一一	五七	三五	一七	五四	四一	二八	五一	三六	一七
六四	二一	一〇	五八	三四	一六	五五	四〇	二七	五二	三七	一六
六五	二〇	九	五九	三三	一五	五六	三九	二六	五三	三八	一五
六六	一九	八	六〇	三二	一四	五七	三八	二五	五四	三九	一四
六七	一八	七	六一	三一	一三	五八	三七	二四	五五	四〇	一三
六八	一七	六	六二	三〇	一二	五九	三六	二三	五六	四一	一二
六九	一六	五	六三	二九	一一	六〇	三五	二二	五七	四二	一一
七〇	一五	四	六四	二八	一〇	六一	三四	二一	五八	四三	一〇
七一	一四	三	六五	二七	九	六二	三三	二〇	五九	四四	九
七二	一三	二	六六	二六	八	六三	三二	一九	六〇	四五	八
七三	一二	一	六七	二五	七	六四	三一	一八	六一	四六	七
七四	一一	〇	六八	二四	六	六五	三〇	一七	六二	四七	六
七五	一〇	〇	六九	二三	五	六六	二九	一六	六三	四八	五
七六	九	〇	七〇	二二	四	六七	二八	一五	六四	四九	四
七七	八	〇		二一	三	六八	二七	一四	六五	五〇	三
七八	七	〇		二〇	二	六九	二六	一三	六六	五一	二
七九	六	〇		一九	一	七〇	二五	一二	六七	五二	一
八〇	五	〇		一八	〇		二四	一一	六八	五三	〇
八一	四	〇		一七	〇		二三	一〇	六九	五四	〇
八二	三	〇		一六	〇		二二	九	七〇	五五	〇
八三	二	〇		一五	〇		二一	八	七一	五六	〇
八四	一	〇		一四	〇		二〇	七	七二	五七	〇
八五	〇	〇		一三	〇		一九	六	七三	五八	〇
八六	〇	〇		一二	〇		一八	五	七四	五九	〇
八七	〇	〇		一一	〇		一七	四	七五	六〇	〇
八八	〇	〇		一〇	〇		一六	三	七六	六一	〇
八九	〇	〇		九	〇		一五	二	七七	六二	〇
九〇	〇	〇		八	〇		一四	一	七八	六三	〇
九一	〇	〇		七	〇		一三	〇	七九	六四	〇
九二	〇	〇		六	〇		一二	〇	八〇	六五	〇
九三	〇	〇		五	〇		一一	〇	八一	六六	〇
九四	〇	〇		四	〇		一〇	〇	八二	六七	〇
九五	〇	〇		三	〇		九	〇	八三	六八	〇
九六	〇	〇		二	〇		八	〇	八四	六九	〇
九七	〇	〇		一	〇		七	〇	八五	七〇	〇
九八	〇	〇		〇	〇		六	〇	八六	七一	〇
九九	〇	〇		〇	〇		五	〇	八七	七二	〇
一〇〇	〇	〇		〇	〇		四	〇	八八	七三	〇

千八百五十一年六月四日ノ籠城規則

第一條 戦争ノ起リタル場合ニ於テハ敵兵ヨリシテ攻撃スヘキ恐ア

ルルハ已ニ取圍マレタル州ニ在ル城寨司令官ハ哨兵線内及ヒ軍

團司令長官ハ其管轄地又ハ其一部ヲ防禦スル爲メ籠城セシムルヲ得

第二條 又一揆ノ場合ニ於テモ公安秩序ヲ害スヘキ恐レアレハ籠城

セシムルヲ得但戦争アルルハ又ハ平時ナリトモ同一ナリトス

此場合ノ籠城ハ内閣ヨリ命スヘシ然レモ已ムヲ得サル場合ニ於テ

ハ縣行政長官ノ申立ニ因リ縣内ニ在ル司令長官ヨリ或ル地方ヲ定

メ假リニ籠城セシムルヲ得至急ヲ要スル場合ニ於テハ其申立ナク

シテ爲スヲ得但直チニ内閣ノ認可ヲ得ヘシ

城寨ノ在ル地ニ於テハ其司令官ヨリシテ假リニ籠城セシムヘシ

第三條 籠城ヲ爲シタルキハ太鼓ヲ打ツカ又ハ「ラツパ」ヲ吹テ之ヲ報知シ且團結官署ニ通知シ公ケノ場所ニ掲示シ公告紙ヲ以テ一般ニ公告スヘシ又籠城ヲ解キタルキハ團結官署ニ通知シ公告紙ヲ以テ一般ニ公告スヘシ

第四條 籠城ヲ公告シタルキハ行政權ハ司令長官ニ屬シ文官及團結官署ハ司令長官ノ命令委任ヲ奉スヘシ

其命令ニ付テハ司令長官其責ヲ負フヘシ

第五條 籠城ヲ爲スニ付キ憲法第五條第六條第七條第二十七條ヨリ

第三十條マテ及ヒ第三十六條又ハ其内一二條ヲ時間及ヒ地方ヲ定

メ其効力ヲ停止スヘキキハ籠城ノ公告ト共ニ其停止ヲ公告スヘシ

又ハ第三條ノ方法ニ從ヒ別段ノ公告ヲ爲スヲ得

前項ニ掲ケタル各條又ハ其一二條ヲ停止シタルキハ止タ籠城ヲ公告シタル地方ニ限り其解ケサル間ハ其効アリトス

第六條 軍人ハ籠城ノ間ハ戰時ニ行ハル、法律ニ從フヘシ又第八條

第九條モ適用スヘシ

第七條 籠城シタル地方ニ於テハ司令長官ハ(城寨アル所ニテハ其司令官)都テ籠城スル軍人ニ對シ上等ノ軍事裁判權ヲ有セリ

又司令長官ハ軍人ニ對スル判決ヲ認可スル權アリ但平時ニ在テハ死刑ヲ認可スルノ權ナシ其權ハ州ノ軍團司令長官ニ在リ

下等軍事裁判權ニ付テハ軍律ニ從ヘフシ

第八條 籠城シタル地方ニ於テ故サラニ火ヲ放ツカ又ハ水ヲ激スルカ又ハ兵力及ヒ文武官ニ對シ兵器又ハ危害ナル器械ヲ用ヒ抗抵ヲ

爲スルハ死刑ニ處スヘシ

輕減スヘキ情狀アルルハ二十年ヨリ多カラズ十年ヨリ少カラサル
徒刑ニ處スヘシ

第九條 籠城シタル地方ニ於テ

- 一 敵兵ノ人數進退勝敗ニ付キ故サラニ訛言ヲ流布シ文武官ノ方
向ヲ誤ラシメントスル者
- 二 籠城ヲ公告シタルル又ハ其時間ニ司令長官ヨリ公ケノ安寧ヲ
維持スル爲メ發シタル禁令ニ背クカ又ハ他人ヲ教唆煽動スル者
- 三 一揆暴行劫囚又ハ第八條(現ニ未タ犯サ、ルルモ同シ)ノ所犯
ヲ爲サンカ爲メ他人ヲ教唆煽動スル者
- 四 兵卒ヲ教唆シテ上官ニ服從セサラシメ又ハ懲戒ニ從カハサラ

シメントスル者ハ

法律ニ重キ自由ヲ奪フ刑ヲ定メサレハ一年以下ノ禁獄ニ處スヘシ

第十條 憲法第七條ヲ停止シテ軍事裁判所ヲ設ケタルルハ此裁判所

ニ於テハ謀反大逆謀殺一揆抗拒鐵道電信ノ損壞劫囚暗殺強盜槍奪
兵卒ヲ上官ニ背カシムルヲ及ヒ第八條第九條ノ犯罪ヲ裁判スヘシ
但此等ノ犯罪ハ籠城ヲ公告シタル後ニ犯ンタル又ハ繼續シテ犯シ
タル者ニ限ルヘシ

内閣ヨリ憲法第七條ノ停止ヲ爲シタルルルニ非サレハ平時ニ於ケル

籠城裁判執行ハ内閣ニ於テ停止ヲ認可スルマテハ之ヲ中止スヘシ

第十一條 軍事裁判所ハ裁判官五人ヨリ成ルヘシ其内二人ハ其地ノ

通常裁判所長ヨリ指定シタル裁判官三人ハ其地ノ司令長官ヨリ指

定シタル士官タルヘシ其士官ハ大尉以上タルヘシ若シ大尉不足ナルハ其次ノ士官ヨリ之ヲ補フヘシ

敵ヨリ圍マレタル城寨ニ於テ裁判官ニ不足アルハ司令長官ハ團結會議ノ議員ヨリシテ之ヲ命シ若シ裁判官一人モナキハ陸軍裁判官ヲ以テ裁判官ト爲スヘシ

軍事裁判所ノ數ハ全州又ハ其一部ヲ籠城シタルハ其時ノ景況ニ從テ之ヲ定ムヘシ其管轄區ハ軍團司令長官ニ於テ定ムヘシ

第十二條 軍事裁判長ハ裁判官ニテ之ヲ爲スヘシ

裁判長ハ其裁判ヲ開ク前ニ裁判官タル士官及ヒ場合ニ因テハ裁判官ニ非サル者ヲ誓約セシムヘシ誓約ハ委任セラレタル裁判ヲ眞心公平ニ法律ニ從テ職務ヲ盡スヘシト誓約スルナリ

軍事裁判官タル士官ヲ指定スル司令長官ハ又陸軍裁判官一人ヲ主任者ト定ムヘシ裁判官ノ在ラサルハ士官一人ヲ定ムヘシ主任者ハ法律施行ヲ監督シ且審問ヲ十分ナラシムル申立ヲ爲スノ義務アリ然レモ投票權ヲ有セス

又裁判長ハ行政官吏ヨリ書記ヲ選ヒ誓約ヲ爲サシムヘシ

第十三條 軍事裁判手續ハ左ノ如シ

- 一 裁判ハ對審裁判ヲ以テシ傍聽ヲ許スヘシ但公ケノ安寧ニ關シ之ヲ禁スヘキハ裁判所ノ決定ヲ以テ爲スコトヲ得
- 二 被告人ハ辯護人ヲ用フルコトヲ得之ヲ用ヒサルハ裁判長ヨリシテ之ヲ附添フヘシ但刑法ニ從テ一年以上ノ刑ニ處セラルヘキハニ限ルヘシ

三 專任者ハ被告人ノ面前ニ於テ其所犯ノ事實ヲ陳述スヘシ
被告人ヲシテ答辨ヲ爲サシメ然ル後其他ノ證據物件ヲ集取スヘシ

其次キニ專任者ヨリ聞糺シタルト及ヒ法律ノ適條ヲ陳述スヘシ
且最終ニ被告人及ヒ辨護人ヲシテ答辨ヲ爲サシムヘシ

判決ハ傍聽ヲ許サスシテ多數ニ因テ之ヲ決シ直チニ被告人ニ宣告スヘシ

四 裁判所ハ法律ノ定メタル刑ヲ科スルカ又ハ放免スルカ又ハ通常裁判官ニ交付スヘシ

放免セラレタル者ハ直チニ拘留ヲ免スヘシ通常裁判官ニ交付スルコトハ軍事裁判ノ權ニ屬セサル者ト看做シタルトニ爲スヘシ此

場合ニ於テハ拘留ヲ繼續スルカ又ハ免スルコトニ付キ其判決書ニ別段ニ之ヲ掲クヘシ

五 判決書ニハ裁判ノ年月日裁判官ノ氏名被告人ヨリ答辨シタル
概要證據物件事實及ヒ法律ノ點法律ノ適條ヲ掲ケ總裁判官及書記之ニ手署スヘシ

六 軍事裁判所ノ判決ニ對シテハ上訴ヲ爲スコトヲ許サス但死刑ノ判決ハ第七條ニ掲ケタル司令長官ノ認可ヲ要ス平時ニ於テハ州ノ軍團司令長官ノ認可ヲ要ス

七 死刑ヲ除キ一切ノ刑ハ宣告後二十四時間ニ執行スヘシ死刑ハ被告人ニ認可ヲ報知シタル後同期限内ニ執行スヘシ

八 死刑ハ銃刑ニ行フヘシ死刑ノ宣告ヲ籠城ヲ解キタル後仍ホ執

行セサル者ハ通常裁判所ニ於テ籠城ニ關セス軍事裁判所ニテ審定シタル所犯爲ニ應スル變スヘシ

第十四條 軍事裁判所ハ籠城ノ解ケタル時ハ直チニ閉鎖スヘシ

第十五條 籠城ヲ解キタル後ハ軍事裁判所ニ爲シタル一切ノ判決並

ニ書類且之レニ屬スル調書審問中ノ事件ヲ通常裁判所ニ交付スヘシ通常裁判所ハ審問中ノ事件ヲ刑法ニ從テ判決スヘシト雖モ止タ

第九條ノ場合ニ於テハ此規則ニ從フヘシ

第十六條 籠城ヲ爲サル時ト雖モ戰爭又ハ一揆ノ起リ公安ヲ害スヘキ恐レアル時ハ憲法第五條第六條第二十七條ヨリ第三十條マテ及ヒ第三十六條又其一二條ヲ内閣ヨリ時間及ヒ地方ヲ定メテ停止スルコトヲ得

第十七條 籠城ヲ爲シタルト否トニ拘ハラヌ第五條第十六條憲法ノ

箇條ヲ停止シタルニ付テハ假令一條ヲ停止シタル時ト雖モ議院ニ直チニ又ハ次會ニ於テ報告スヘシ

第十八條 此規則ニ抵触スル法ハ凡テ廢止タルヘシ

ブルンチユリ―氏政略論

政府官吏及ヒ政府官署

一 政府ノ爲メノ勤トハ之ヲ概論スレハ都テ政府ヨリ求メラレタル職務及ヒ好シテ自カラ政府ノ爲メニ爲シタル職務ヲ云フナリ此意味ノ勤ノ字ニハ兵士及ヒ刑事ノ陪審民撰議院代議士議員撰舉人撰舉人ヲ撰フ者等ノ職務ノ如キ國家ノ爲メニスル一切ノ公務ヲ含蓄ス可シ

然レモ以上ニ掲クル職務ニテハ政府ニ勤ムル者ノ權利義務ヲ生ゼス因テ之ヲ政府ノ勤トハ言ヒ難シ故ニ一般國民ノ權利義務ヲ行フノ例ヘハ兵役ニ就ク可キ義務ヲ盡シ又ハ撰舉權ヲ行フハ政府ノ勤トハ看做シ難シ又議員ノ權ヲ行フモ亦同シ政府ノ勤メハ政府ヨ

リ特別ニ委任サレタル職務ニ限り之ヲ言フ可クシテ止タ其委任ヲ受ケテ國家ノ爲メニ其公務ヲ行フ人ヲ政府ニ勤ムル者ト稱ス可シ

一 團結又ハ寺院其他一箇獨立人ト看做ス可キ社會ニ使役セラル者ハ政府ニ勤ムル者ニ非ス何トナレハ其職務ハ公務ナレハ政府ヨリ委任ヲ受クルニ非ス且直接ニ國家ノ爲メニ爲シタルニ非サレハナリ

國王ノ爲スコトハ政府ノ勤メトハ言ヒ難シ國王ハ止タ國權ヲ特ニ一人ニシテ有スル者ニシテ國王ヨリシテ一切ノ職務カ分カレテ委任セラルレハナリ併ナカラ「フリドリーヒ、デル、グローセ」王ハ國王タル者ハ政府ノ最上等官ト稱セシ所以ハ其職掌ハ憲法ニ因テ行フ者ニシテ全ク國家ノ爲メニ爲セハナリ

二 狭ク言フ所ノ一切ノ政府ノ勤ヲ以テ政府ノ職掌トハ稱シ難シ又

一切政府ニ勤ムル者ヲ以テ政府ノ官吏トハ稱シ難シ

政府ノ官署ハ一種ノ政務ヲ擔任スル体物ヲ云フ故ニ一種擔任セラレタル職務ヲ爲スニハ多少制限アル威力ヲ持ツ可シ其物体ノ働キヲ爲サシムル者ヲ官吏トスルナリ以上ノ譯ヲ以テ廣ク言フ所ノ政府

ノ官吏ハ國王ニ附屬スレハ獨立シテ其擔任シタル公務ヲ行フ政府

ニ勤ムル者ヲ云フナリ狭ク言フ所ノ官吏ハ命令ヲ下ス權ヲ有シ行政

又ハ裁スケーヂメント國權ヲ行フコトヲ擔任セラレタル者ヲ云フナリ都テ政府ノ教

育又ハ理財又ハ監守ヲ擔任サレタル者ニシテ國權ヲ行フコトヲ得サル者ヲ言フニ非ス初メニ言フ所ノ者ハ即チ狭ク言フ所ノ政府ノ官吏ニシテ後ニ言フ所ノ者ハ保護者ナリ此二ツノ者ハ公務ナレハ初

ノ者ハ政府ノ職掌ニシテ後ノ者ハ保護役ナリ

政府ノ保護者トハ例ヘハ公立學校ノ教師公立病院ノ長及ヒ醫師軍

醫機關士及ヒ大藏省ノ金銀取立役山林監守者ナリ

此等ヲ取除キタル者ハ純粹ノ官

吏ナリ

所謂純粹ノ政府ノ官吏ハ行政司法官吏ナリ行政官吏ハ行政ノ職務

ヲ爲ス者ニシテ其權限内ニ於テハ公益ノ爲メニ便宜必要ナル事ヲ

命令シ其命令ニ從ハサレハ強ヒテ之ニ從ハシムルノ權アリ又其長

官ニ對シテハ長官ノ命令ヲ奉シテ之ヲ行フ可キ義務アリ司法官吏

ハ之ニ反シテ公益ト認ムル者ヲ自カラ之ヲ命スルノ權ヲ有セス現

ニ行ハル、法律ヲ握リテ之ニ違背スル者ヲ裁判ス可シ併ナカラ其

職掌ハ止タ己レノ信スル所ニ從テ之ヲ行ヒ時々政府ノ命令ニ從フ

ニ及ハス平時ニ於テハ行政官吏ハ多ク自由主義ノ職務ヲ執ル者ニシテ司法官吏ハ保守主義ノ職務ヲ行フ者ナリ

三 上ニ掲グル行政司法官吏ヨリ分離ス可キ者アリ「スターツ、アン

ゲステル」則チ備及ヒ補助役此等ノ者モ政府ニ勤務ヲ奉スル者ト雖

モ純粹ノ職掌ヲ有セス故ニ職務上ノ權力又ハ獨立ノ權限ヲ有セス

其長官ヲ補助スル者ニシテ止タ長官ノ命ニ從フ可キ者ナリ例ヘハ

書記又ハ建築物ノ監守人會計補助役等ノ如シ併ナカラ此等ノ者ハ

政府ニ勤メヲ爲ス者ト同一ノ位地ニ据ヘタリ何トナレハ僅少ナル

精神ヲ用ユル所務ナレハ公務ノ一部ナレハナリ若シ毫モ精神ヲ用

ユルコナク止タ器械用ノ所務ヲ爲ス者ナレハ國家ノ爲メニ勤ムル

モ政府ニ勤ムル者ノ性質ハ全ク失フ可シ例ヘハ官中侍從門衛裁判

ラライエン

所使丁憲兵等ハ器械用ニ屬スル者ニシテ之ヲ政府ノ使役者ト稱スルヲ善トス此等ノ者ノ權利義務ノ關係ハ國法上ニ於テ政府ノ勤トハ看做ス可カラス民法ニ於ケル勞力契約ト看做ス可シ

四 其他文官及ヒ武官ノ區別アリ此區別ハ「コンスタンチン」デ、グロ―セ「帝カ始メテ此區別ヲ設ケ近來ニ至リテモ之ヲ遵奉セリ政府ニ勤メヲ爲ス可キ者トスル者ハ止タ士官ノミニシテ兵卒ハ政府ニ勤メヲ爲ス可キ者ト看做ス可カラス何トナレハ士官ハ指揮ヲ爲スノ權ヲ有シ兵卒ハ一般人民ノ兵役ニ就ク可キ義務ヲ盡スカ又ハ賃料ヲ受ケ勞力ヲ爲ス民法上ノ契約ニ因テ勤メヲ爲ス可キ者ナレハナリ武官ノ文官ニ異ナル所ハ懲戒ノ嚴ナルト恭順（長官ニ對スル件）ノ嚴ナルト及ヒ其職掌ニ於ケル直チニ命令ヲ下ス職ニ非スシ

テ止タ（上官ノ）命令ヲ執行スル職掌ナリ是其異ナル所ナリ

五 官吏數人合衆シテ評議ヲ爲シ多數ニ因テ決スルト及ヒ一人ニシテ獨斷スルトノ異ナルニ因テ合衆官署ト獨斷官署トニ區別ス評議ヲ爲スニハ事件ヲ數箇ニ見分クルヲ要スレハ合衆官署ニテ評議ヲ爲シ事件ヲ實地ニ施行スルニハ速カニ決斷ヲ爲シテ速カニ實行スルヲ要スレハ獨斷官署ニテ一人ニテ斷決ス可シ
又場合ニ因テハ合衆ト獨斷ト相混同スル官署アリ例ヘハ卿ハ書記官ト合議シテ後ニ實行スルカ如シ

又其官署ノ上下及ヒ其管轄ノ大小ニ從テ中央官署諸省及ヒ之レニ屬スル中等官州縣署及ヒ下等官署區村ノ區別アリ時トシテハ同等ノ官署數箇アリ競争シテ事務ヲ爲ス例ヘハ古昔「ローマ」ノ「マギストラツール」

邑官ノ英國ノ治安判事ノ如キ同區ニ數個アリテ同一ノ權限ヲ有ス
レレ合衆シテ事務ヲ執ルニ非ス各已獨立シテ事務ヲ執レリ

六 各官署ニハ通常以下ノ三箇條ヲ有セリ

一 權利義務ノ種類及ヒ範圍

命令ヲ發スヘキ權ヲ有スル官署ニ於テハ之ヲ權限ト稱ス

二 官署所在ノ地

官署ハ事務ノ輻湊スル所ナリ巡回官吏ト雖モ官署所在ノ地ヲ
必ス有スルモノナリ

三 管轄區

七 政府ニ勤メヲ爲ス者ノ權利義務ト云フ者ハ往昔ノ如ク民法上ノ
契約ニ因テ生スル者ニ非ス公法ニ基ク性質ノモノナリ

古ノ如ク職務ヲ委任又ハ賃料ヲ受ケテ勞力ヲ貸ス者ナリトセハ其
性質ニ背クノミナラス職務ノ名譽ヲ汚カスモノナリ故ニ職務ノ任
免及ヒ性質ハ民法上ヨリ之ヲ論スヘキモノニ非ス
職務ヲ任スルコトハ公益ノ爲メ一定ノ辭令書ヲ以テ任スルナリ此辭
令書ヲ一種ノ法律トスル者アレレ穩當ナラストス何トナレハ立法
官ヨリシテ發スルニ非ス王國ニ於テハ國王、共和國ニ於テハ政府又
ハ民選ニ因テ發スレハナリ辭令書ハ外國人ヲ傭入ルカ如ク豫シメ
契約ヲ爲スモノト雖モ相互ノ契約ニ非スシテ政府ノ命令ヲ本体ト
シ且其契約ヨリシテ任官ノコトニ付キ裁判所ニ訴出テ政府ヲシテ強
ヒテ任セシムルコトヲ得ス然レレ辭令書ハ執行セシムルコトヲ得サレ
レ契約ヨリシテ損害ノ償ヲ求ルコトヲ得

其他政府ノ勤ハ政府ニ勤メヲ爲スモノニシテ公ケノ性質ヲ有スル者ナリ元來職掌ト云フ者ハ政府ニ於テ之ヲ必要ナリト要スルヲ以テ成立ツ者ニシテ其職掌ヲ任セラル、者ノ爲メニ成立ツ者ニ非ス故ニ其職掌ハ其性質ニ從テ一箇私有ノ權利トシテ付與スルコトヲ得ス因テ人民相互ノ契約ニ因テ如何トモスルコトヲ得ス中古ノ時代及ヒ佛國ニ於テ職掌ヲ人民相互ノ契約ニ因テ之ヲ動かスコトヲ得ルモノト爲セシハ未タ國家ハ民法ノ内ニ檢束セラレテ公法上ニ於テ獨立シタルモノナルコトヲ知ラサレハナリ

八 職務ニ附屬スル俸給ハ固ヨリ民法上ノ性質ヲ有スルモノナリ何トナレハ俸給ハ其職務ニ附屬スルモ其本人及ヒ家屬ノ活計ヲ助ケルカ爲メニ付與スル者ニシテ畢竟本人ハ國家ノ爲メニ事務ヲ爲シ

政府ハ其者ノ活計ヲ立ツ可ケレハナリ俸給ヲ求ムル權ハ公法ノ性質ヲ有スルニ非スシテ民法上ノ財産權ニシテ民事裁判官之ヲ評定スルコトヲ得

併ナカラ職掌ノ本体ハ俸給ニ因テ定マルモノニ非ス古來無給ニシテ職掌ヲ奉スルコトアリ之ヲ無給料ノ職掌トス其政府ニ於テ缺ク可カラサルコトハ俸給ヲ受クル職掌ニ異ルコトナシ彼ノ英國ノ治安裁判官ハ無給ニシテ政府ノ警察事務ヲ勤ムル者ナリ普國ノ郡長ハ俸給ヲ受ケテ政府ノ警察事務ヲ主ルモノナリ孰レモ國家ノ警察官トシテ缺ク可カラサル者トス

○官吏ニ任スルコト

一 中古ニ於テハ官吏ハ世襲ナレモ今日ニ至テハ一般ニ之ヲ廢セリ

中古ニ遡リテ考フレハ官吏ノ世襲タルハ其職掌ヲ一己私治ノ權ト看做シ國家統一ノ姿ヲ變スルニ至リタル確證アリ止タ國家統一ノ姿ヲ妨害スルノミナラス元來職掌ヲ爲スニハ之ヲ勤ムル者ニ相當ノ學識アルコトヲ要ス學識ハ則チ世襲ノモノニ非スシテ一己一人ニ屬スルモノナレハ世襲ノ官吏ハ其學識アルコトヲ保證スルコトヲ得ス且他ノ學識アル者ヲ官吏トスルノ道ヲ絶チ國家ノ害トナレハナリ故ニ今日ハ稀ニ世襲ノ官吏アルノミ其職掌ハ通常國權ノ一部ニ屬スル者ニ非スシテ中古ノ世ヨリ始リタル宮中官吏ノ如キ面目上ノ職掌ニ限レリ

現今ニ於テハ職掌ノ本体ハ公ノ義務ヲ盡クスニアリ故ニ職掌ヲ家名身分土地ヨリシテ全ク分割シタリ

二 職掌ニ付キ今日ニ於テ仍ホ存スル區別ハ常務職掌ト名目職掌トノ二ツノミ常務職掌トハ其職掌ヲ勤ムル者ノ常務ニシテ其職掌ヲ以テ活計ヲ立ツ者ナリ又常務職掌ニ在テハ政府ヨリシテ官吏ノ學識及ヒ熟練ヲ求ムルコトモ名目上ノ職務ニ比スレハ甚々多ク又其官吏ハ自然活計ヲ政府ニ求ムルコトヲ得終身職務ニ從事セントスルハ政府ヨリ補助ヲ受ケントスルハ當然ノコナリ併ナカラ面目上ノ職掌ハ止タ二三ノ事務ヲ爲スノミニアリテ終身職務ニ從事セサル者ニ之ヲ任スルモノナリ例ヘハ農業者又ハ商人學者等ノ如キ農業等ニ從事シテ其業又ハ私有財産ニテ活計ヲ爲ス者ニ任スルナリ

常務職掌ハ職務上ノ學識ヲ要シ且之ヲ常務トス可キ職掌ニハ最も

缺ク可カラサルモノトス名目上ノ職掌ハ止タ一時事務ヲ奉ス可キ
 職掌ニハ最モ有用ノモノニシテ例ヘハ陪審及ヒ違警罪裁判官下院
 ノ代議士ノ如シ又各目上ノ職掌ハ有力者社會ニノミ之ヲ命スル
 ヲ得下等社會ニハ學識ノナキ者モアリ又ハ餘暇ノナキ者モアリ又
 ハ此二ツノナキ者アリ常務ノ職掌ヲ勤メントスル者ニハ政府ヨリ
 シテ職務上ノ學識ト熟練トヲ求ムルヲ得
 今日ノ世ニ於テハ常務職掌ハ面目上ノ職掌ヨリハ必用ノモノナリ
 然レ此二ノ者ヲ併セテ相互ノ缺乏ヲ補ハシムヘキ職掌モアリ當
 今立憲政体并ニ自治主義ノ蔓延スルハ常務官吏ヲ本元トシテ各目
 上ノ官吏之ヲ輔翼スル組織ヲ要スルナリ例ヘハ普國ニ於テ郡長ト
 郡總代トヲ合併シテ其職掌ヲ行ハシメ陪審及ヒ違警罪裁判官ト常

職ノ裁判官トヲ合併スルカ如シ

三 國体ノ進歩ハ獨裁政体カ憲法 專ラ英國又ハ佛國ヨリ起リタル者
 多ケレ此特リ官署ノ編制ニ至テハ獨逸國ハ他ノ諸國ニ先チテ之ヲ
 整頓セリ獨逸ノ編制ニ於テハ官吏ト爲ル者ハ職務上ノ學識ヲ有シ
 職務ニ付テノ義務ヲ誠實ニ盡ス可キヲ保スルノ編制ナリ其編制
 ノ大略ハ左ノ如シ

一 何人ニテモ官吏タルヲ得貧窮人ノ子ナリト雖モ學識ヲ有ス
 ルハ高官ニ昇進スルヲ得ヘキコトハ有福ノ子ト異ルコトナシ又
 貧窮人ノ子ヲ救ツテ教育スルノ法アリ然レ此實際大學校ニ入ッ
 テ學問スル者ハ上等社會ニ多ク已ニ世襲ノ教育及ヒ風俗ヲ生ナ
 カラ有セリ故ニ下等社會ヨリ學識ニ因テ直ニ上等社會ノ者トナ

二 官吏ト爲ラントスル者ハ第一中學校第二大學校ノ教育ヲ受ク
可シ技術ニ係ル例ハ機關士建築師ハ其科ノ中學校又ハ大學校ニ
於テ教育ヲ受クレハ尋常ノ中學校大學校ノ教育ヲ受クルニ及ハ
ス其後第二ノ大試験ヲ受ケヘシ

獨逸大學校ニ於ケル教育ノ趣意ハ止タ其常務者ヲ仕立ルノミナ
ラス法律及ヒ條理ヲ研究スルニアリ支那ニ於ケル官吏ノ教育法
ノ如キ陳腐ナル迂遠ノモノトハ大ニ差アリ故ニ國家及ヒ社會ハ
官吏ニ學識アルコトノ確固ノ保證ヲ有セリ又試験ヲ經タル者ニシ
テ官吏タルコトヲ得レハ黨派ノ者ヨリ撰任シ又ハ國王ノ隨意ニ撰
任スルカ如キ弊害ヲ防クノ方法ト爲ル可シ試験ノ法アルヲ以テ

學識アル者カ自然官吏ト爲ルノ道アリ無學者ニシテ上等官ノ因
縁ニ因テ官ヲ得ルコト莫ラシム
併ナカラ必シモ試験ノミヲ以テ官吏ヲ撰任スルハ善カラス又別
ニ試験ヲ經サルモ官吏ト爲ルコトヲ得ルノ方法ヲ設ケサルヘカラ
ス是レハ止タ外國人ニシテ第二ノ試験ヲ經サルモ其學識アルコ
トヲ知リタル場合ノミナラス内國人ニ對シテモ同シク此法ナカル
可カラス其才智アル者ハ屢々一種餘人ニ異ナル所ノ學問ヲ爲ス
コトアレハ此人ヲ試験ヲ經サルヲ以テ官吏ト爲スコトヲ得ストセハ
政府ハ自カラ不利ト爲ルノ失アラン最モ政事學ニ通シ政略ニ達
スル人ヲ要ス可キ職掌例ヘハ「諸省ノ卿參議院議官大學校教官」
ニ付テハ大ニ其失ヲ見出サン此特別法アリトモ通常ノ試験法ヲ

妨ルノ弊害アラシクノ恐ナケレハナリ

三 見習者ニハ見習時間アリ學問上ノ試験ヲ經タル後官吏又ハ代
言人ノ補助者ト爲リテ其事務ヲ見習フ可シ見習ヲ經タル片第二
ノ試験ヲ受ケ職掌ヲ依托スルニ足ル可キ學識ト熟練トヲ有スル
ヤ否ヲ試ムヘシ

四 官吏ニ撰任ス可キ要件ノ備ハリタル後政府ニ於テ之ヲ用フ可
キ片ハ本人ノ望ニ從ヒ之ヲ任命ス可シ
任命シタル後ハ職務年限ト其人ノ器量ニ從テ漸次昇級スヘシ
職務ノ昇級スルニ從テ尊號等級俸給モ從テ増加ス可シ此昇進法
ハ概シテ論スレハ之ヲ善ト云フヘシ然レモ之ヲ實行スルニハ最
モ折衷ヲ爲ス可シ必シモ年限ニ從ハス年
限短クモ昇級スヘシ最上等官ニ昇進ス可キ

一 專ラ目的ト爲ス可カラス且又昇進セシムルニモ必シモ職務
ノ年限ヲ以テ昇進セシム可カラス昇進セシムルニハ其者ノ學識
ニ基クヘシ學識アル者ニテモ數年通常ノ事務ニ頭腦ヲ費ス片ハ
其後昇進シタル片更ニ大ナル頭腦ヲ費スヘキ職掌ニ堪ヘ難キ
ニ立到ラン斯ノ如キ弊害ハ試験法ヨリ生シタルニ非スシテ其法
ヲ活用セサルヨリ生シタルモノナリ專ラ政務ニ關スル職掌ハ頭
腦ヲ大ニ費ヤス可キモノナレハ多ク頭腦ヲ有スル者ニ委任シ白
髮者ノミニ專ラ委任スルハ不可ナリ故ニ政務ニ關スル職掌ハ職
務ノ年限ニ拘ハラス昇進セシムルヲ善トス

五 政府ヨリ給與スル俸給ハ官吏及ヒ其家屬ノ身分相當ノ生活ヲ
爲サシムル爲メナリ勿論獨逸官吏ノ俸給ハ甚タ僅少ナルモノ多

クシテ營業者ノ收入ニ比スレハ甚々些少ナリト雖モ營業者ノ如キ時々損毛ヲ受クルコトナク且私有財産ト俸給トヲ合シテ能ク運用スレハ自己相當ノ活計ヲ立ルニ足ルヘシ又漸次ニ常務官吏ノ員數ヲ減シ名目官吏ヲ以テ補フニ至レハ官吏ノ俸給ヲ増加スルコトヲ得ン

六 又獨逸官吏ハ一定ノ俸給ヲ得ヘキ權利ヲ有セリ若シ政府ニ於テ其官吏ヲ要セサルカ又ハ老衰疾病アルカ爲メ職務ヲ奉スルコト能ハサルトハ退隱料ヲ求ムヘキ權利アリ

俸給及ヒ退隱料ヲ受ク可キ權利ヲ有スルカ爲メ獨逸官吏ハ獨立心ヲ持チ社會ニ於テ大ニ名譽ヲ得ルモノナリ又官吏社會ニハ自カラ聯合ノ精神ヲ有シ一種別ニ官吏社會ヲ組立テリ官吏社會ハ

政府ニ對シ甚々政界上威權アル社會ニシテ國王又ハ民撰議院ニ於テ之ヲ輕蔑スルコトヲ得ス國王及ヒ民撰議院ノ爲メニハ缺ク可カラサルモノニシテ其足ラサル所ヲ補フノミナラス又是等ヲ制限スルコトアリ

四 英國ノ官吏編制ハ全ク獨逸國ノ編制法ニ異ナレリ獨逸ノ如キ固結シタル官吏社會ノ如キモノナシ獨逸ニ於ケル常務官吏ノ爲スヘキ職掌ハ英國ノ貴族ニテ無給料ニシテ之ヲ勤メ則チ地方ノ警察、行政、裁判事務ハ名譽上ノ官吏ニテ之ヲ勤ムルナリ英國ニ於ケル諸省ノ卿ハ官吏社會ヨリ出テス下院ノ黨派ヨリ出ルナリ其他ノ官吏モ亦黨派ヨリ出テ學識ニハ拘ハラズ議院ノ黨派長ヨリ指名スルナリ併ナカラ英國ニ於テモ從前ニ比スレハ官吏ト爲ル者ノ學識ト試

驗トヲ要スルコトニ成レリ上等裁判官ニ爲ルニハ従前ヨリ法律學ヲ學ヒタル者ニ非サレハ爲ルコトヲ得ズ法學ヲ學フコトハ大學校ニ於テ學フニ非ス倫敦法律學者組合又ハ代言人ニ從事シテ實際ニ就キ學フナリ近來ニ至テハ技術上ノ官吏モ多クハ試験ヲ經テ任セラル、コトニ成レリ故ニ學識ナキ者ハ官吏ト爲ルコト難ク且黨派及ヒ黨派長ノ官吏トスルノ威力ヲ減シタリ併ナカラ諸省ノ卿ノ變更ニ因テ其他ノ官吏六十有餘名ヲ改正スルコトアリ其内ニハ純粹ノ政務ニ關スル官吏アリ又宮中ノ官吏モアリ

五 北亞米利加合衆國ノ官吏編制ハ素ト英國ノ官吏編制法ニ基クモノナレト共和及ヒ民權主義ノ精神ヲ以テ折衷シタルモノナリ大統領「ジャクソン」氏以來ハ大統領ノ變更アル毎ニ官吏ヲ改正スルコト

ノ風習盛ニ行ハレリ四年又ハ八年毎ニ新タニ大統領ヲ撰舉シ他ノ黨派ノ者カ政權ヲ執ルコトニ爲レハ官吏數人ヲ斥ケテ新タニ撰舉ヲ爲スヲ常トス漸々他ノ官吏ヲ斥ケテ止タ黨派及ヒ官吏ト爲ル者ノ望ヲ達シ國家及ヒ社會ノ利害ヲ顧ミス故ニ官吏ノ位地ハ定マラスシテ政黨ノ變化ニ因テ變動シ易ケレハナリ此惡弊ハ甚タ救ヒ難キモノナリ止タ裁判官ニ限リテハ其改革ノ爲メ動カサル、コトナシ裁判官ヲ代言人ヨリ撰舉スルノ風習ハ則チ法學ニ達シ且ツ實際ニ通スル者ヲ裁判官ト爲サン趣意ナリ

六 佛蘭西國ニハ官吏社會ナルモノアリ併ナカラ獨逸ノ如ク獨立シタル社會ニ非ス國王又ハ當時ノ卿カ隨意ニ官吏ヲ任免スルノ權ヲ有セリ且獨逸ノ如ク必ス學識ヲ有スル者ニ非サレハ官吏ト爲ルコト

ヲ得サルニ非ス勿論技藝上ノ官吏ハ其專門學校ノ試験ヲ經サレハ其官吏ト爲ルコトヲ得ス例ヘハ技藝學校兵學校又裁判官ハ大學校ノ試験ヲ經サレハ爲ルコトヲ得ス併ナカラ此法ハ獨逸國ニ於ケルカ如ク一般ニ行ハレテ佛ニテ一般ニ官吏ト云フ者ハ政府ニ從フコト嚴ニシテ又專ラ黨派ノ方向ニ從ヒ國家ニ對スル義務及ヒ職務上ノ義務ヲ盡スハ至テ稀レナリ

七 共和國則チ昔日ノ(ギリシヤ)共和國及ヒ今日ノ瑞士亞米利加ノ如キ共和國ニ於テモ期限ヲ定メテ官吏ヲ任スル編制法ヲ用フ其年限ハ僅少ニシテ再ヒ選舉スルコトモアリ又ハ選舉セサルコトモアリ團結官吏ノ如ク學識ヲ要セス且其職務ヲ常務トスルニ及ハサル官吏ニ於テハ此法ヲ用ユルコトハ至當ナリトス併ナカラ政府ノ官吏ノ如ク

數年ノ教育ヲ要スル官吏ニ於テハ近來ニ至テハ最モ職務上ノ教育ヲ要スルコト甚シケレハ數年間ノ教育ハ必ス缺クヘカラサルモノナリ此法ヲ用フルハ僅少ノ年限ニテ任セラルハ甚タ弊害アリ此法ハ佞吏及ヒ黨派ノ者ヲ官吏ト爲シ易ク常ニ官吏ヲ改革シテ國家ノ爲メニ一身ヲ擲ツヘキ者ノ官吏ト爲ルコトヲ妨クレハ國家ノ安寧ヲ害シ且其職務ノ抄取ヲ妨クレハナリ是等ノ弊害ト其職務ヲ奉スルニ足ル學識ナキ官吏又ハ信用ヲ失ヒタル官吏ヲ容易ニ退クル利益トヨ比較スレハ必ス弊害多カラン併ナカラ此法ヲ貴族ノ多クアル國ニ於テ用フルハ其弊害ハ格別多カラサルヘシ貴族ハ古來ノ慣習ヲ變革スルコトヲ好マス且其度ヲ守ルノ性質ヲ有スレハナリ民權黨ハ之ニ反シ常ニ改革ヲ好ムカ故ニ職務期限ヲ成ルヘク短少ニ爲サント

欲スルナリ民權黨ノ多クアル國ニ於テハ學識及ヒ才能アル人ヲ推
舉スルコト能ハサルノ弊アリ何トナレハ學識才能アル人ハ官吏ト爲
ルヨリハ寧ロ他ノ確固トシテ動カサル職業ニ就クヲ優レリトシ又
民權黨ノ意ニ協ハサルモノナレハ一ノ理由ナクシテ學識アル者ヲ
斥クレハナリ

八 任命セラレタル職務ヲ肯ンスルト肯ンセサルトハ本人ノ隨意ニ任
ス可シ何トナレハ其任命ハ契約ニ基クニ非ス政府ヨリ人ノ精神ヲ
使用スルニハ直接ノ脅迫ヲ用フルモ之レニ從フ者ニ非ス間接脅迫
ヲ用フルモ亦之レニ從ハシムルコト難シ却テ各人ノ隨意ニ任カスル
ハ其職務ヲ勉勵シ且又政府ハ國民ニ對シ強ヒテ特別ノ義務ヲ盡サ
シムルコトヲ得サレハナリ此法隨意ニ任カスハ近來ニ至テハ共和國及ヒ王

國ニ於テ孰レモ採用セリ

併ナカラ政府ノ職掌ノ團結ノ職掌ニ近似スルカ又ハ之レト合併ス
ル場合ハ別段ナリトス強ヒテ任スルナリ此場合ニ於テハ政府ヨリシテ官吏
ニ求ムル要件モ少ナク且多人數ヲ要スレハ之ヲ國民一般ノ義務ト
看做スナリ

九 何レノ時ヨリシテ官吏ノ職務ノ始マルヘキヤニ付テハ種々ノ説
アリ然レモ任命ハ政府ノ獨斷トスル所ヲ考フレハ其疑ハ氷解ス可
シ則チ政府ニ於テ獨斷シタル事詳カニ之ヲ言ヘハ辭令書ノ日限ヨ
リシテ其職務ノ始マルモノトス官吏ハ其日限ヨリ俸給ヲ求ムル權
ヲ得ルノミナラス其職務ニ屬スル權限ヲ委托センコトヲ求ムル權ヲ
有スル者ナリ辭令書ヲ本人ニ交付シ並ニ任命ノ後ニ其職ニ就カシ

ムルコハ畢竟任命ヲ終リタルノ効驗ニシテ之ヲ以テ任命ノ終リト爲ス可カラズ

○政府官吏ノ權利義務

一 官吏ハ其職務ニ附着スル事務ヲ行フノ權アリ其事務ヲ行フコトヲ得ル權ヲ權限ト云フ

此權ハ純粹ノ公法上ノ權ナリ故ニ此權ニハ其事務ヲ行フ可キ義務アリ其事務ヲ行フト行ハサルトハ官吏ノ隨意ニ任カス可カラズ畢竟此權ハ官吏隨意ノ處分ニ任カシタルニ非ス公ケニ之ヲ行フ可キ爲メニ委任シタルナリ又官吏ハ政府ニ對シ職務上ノ權限ヲ動かサ、ラシムル權利ヲ有セス又其事務取扱方ニ付テノ權ヲ有セス法律ヲ以テ其權限ト事務取扱方ヲ變スレハ官吏自カラ之ヲ好マスト雖

モ從ハサル可カラズ長官ノ命ニ於ケルモ亦同シ新タニ權限ヲ増スコアルモ之ニ背クコト能ハス元來職務ノ興廢及ヒ種類ニ付テハ全ク政府ノ獨斷ニアル者ニシテ官吏ノ權利義務ハ職務アツテ始メテ起ル者ナレハ政府ノ爲ス所ニ從フ可シ

二 職務ニ附着スル尊號等級ハ官吏ヨリ之ヲ求ムル權ヲ有スレモ此權モ亦民法上ノ性質ヲ有スルモノニ非ス公法上ノ性質ヲ有スルモノナリ

故ニ法律ヲ以テ尊號等級ヲ變スルモ私有ノ權ニ立入りタリトハ言ヒ難シ政府ハ之ヲ爲スノ權アレハナリ併ナカラ尊號等級ハ職務ノ期限ヲ過キテ仍ホ存スル者アリ然ルモハ退職シタル官吏ノ私有權ト爲ルヘシ

三 官吏ニ於テ職務ノ爲メニ爲シタル立替及ヒ職務ノ爲メニ受ケタル損害ニ付キ其償ヲ求ムル權ハ純粹ノ民法上ノ權ニシテ俸給ヲ受クル官吏ト俸給ヲ受ケサル官吏トニ拘ハラズ各其權ヲ有セリ

四 官吏其職掌ヲ勤ムル爲メ一定ノ金額ヲ求ムル權ハ自然ニ有スルモノニ非ス職掌ノ爲メ俸給ヲ與フルト與ヘサルトハ政府ノ權ニアリ俸給ヲ受クル職掌ヲ勤ムル官吏ハ政府ノ出納局ニ對シ俸給ヲ求ムル權ヲ有スレハ其權ハ民法上ノ性質ヲ有スルナリ

然レモ俸給ニ二種ノ部分ヲ含メリ獨逸國ニ於テハ法律ヲ以テ此區別ヲ定メ身分ニ付テノ俸給ト職掌ニ付テノ俸給トヲ區別スル所アリ身分ニ付テアル俸給ハ官吏ノ身分ニ應シテ生活ヲ立ル爲メニ給スル者ナリ

政府ニ於テハ其職掌ノ爲メ一身ヲ致スヘキ職務ヲ奉スル者ニ身分ニ付キタル俸給ヲ給ス可キハ勿論之ヲ給スルコトハ政府ノ爲メナリ職掌ニ付キタル俸給ハ其職ヲ行フニ付キ必用ナル費用及ヒ其接對費ヲ包括ス此區別ハ官吏退隱ノ時ニ最モ必用ナリ退隱シタル時ハ身分ニ付テノ俸給ハ仍ホ之ヲ求ムルヲ得レモ職務ニ付テノ俸給ヲ求ムル權ハ消滅スヘシ故ニ身分ニ付テノ俸給ヲ求ムル權ハ民法上ノ性質ヲ有スレモ職務ニ付テノ俸給ヲ求ムル權ハ職務ヨリ放ツコトヲ得サルモノニシテ公法上ノ性質ヲ有スルナリ又手数料ノ付キタル職務アリ手数料ハ官吏ノ職務上ノ費用トシテ給スルモノニシテ官吏ノ活計ノ爲メニ與フルコト雖モ職務ニ付キタル俸給ノ性質ヲ有セリ然レモ政府ハ職掌ヲ改革スルノ權ヲ有スレハ法律ヲ以テ手

數料ヲ定メ又ハ變スルコトヲ得手数料ヲ減シタルハ之レニ應シテ職務ニ付キタル俸給ヲ増ス可キコトハ當然ナリ手数料ヲ減シタル高ノ損害賠償ヲ求ムルノ權ハナシ

五 職務上ノ所犯ニ因ラスシテ退職ス可キハ未タ經過セサル職務期限中退隱料ヲ求メ得ル權利ハ俸給ノ民法上ノ性質ヲ有スルヨリ來ルモノナリ退隱料ヲ求ムル權ハ身分ニ付テノ俸給ニ因テ定ムヘシ若シ豫シメ俸給ノ區別ヲ定メサルハ止タ俸給ニ因テ定ムヘシト雖モ職務費用及ヒ交際ニ應スル價格ヲ扣除シテ定ム可シ退隱料ハ法律ヲ以テ豫シメ其多少ト要件トヲ定ムルヲ便利ナリトス何トナレハ退隱料ヲ求ムル權ハ已ニ任命ニ因テ定マルコト多シト雖モ其多少ニ至テハ法律ナクシテハ其都度之ヲ定ムルコト甚タ難ク且法律

ナキカ爲メニ損害ヲ受クル者ナシト保證シ難ケレハナリ如此法律ヲ以テ退隱料ヲ定ムルハ政府出納局ニ於テハ大ナル義務ヲ負ヒ又政府ハ退隱料ヲ給スルモ其報酬ノ爲メ勤メヲ爲サシムルコトヲ得ス併ナカラ今日ニ於テハ政府官吏ハ其職掌ヲ以テ常職ト爲セハ俸給ヲ與ヘサルヲ得サルカ如ク退隱料ヲ給ス可キコトモ亦同一ノ理由ニ因ルナリ商業或ハ製造ノ業等ニ比スレハ官吏及ヒ其家屬ノ活計ハ甚タ困窮ナルモノナリ(稀ニハ然ラサルモノアリ)然ルニ政府ハ官吏ニ對シ營業者ヨリハ多キ學識ヲ要シ且一身ヲ擲タンコトヲ欲スルナリ一身ヲ職務ニ擲ツ者ノ困窮ヲ救フ可キハ政府ノ義務ナリ此義務ヲ盡スニハ退隱料ヲ以テス可シ又人民モ多分ノ費用ヲ負擔ス可シト雖モ善良ナル官吏ヲ得ルノ利益ヲ得且賄賂ヲ受ケ又ハ人民

ヨリ金ヲ請求スルノ惡弊ヲ絶ツヘシ

死去シタル官吏ノ寡婦及ヒ遺子ヲ養育ス可キ義務ハ政府ニテ負擔スルニ及ハス何トナレハ職掌ハ一身ニ止マル者ニシテ且俸給ハ世襲ノモノニ非サレハナリ併ナカラ或ル國ニ於テハ公立ノ退隱料貯金所ヲ設ケテ官吏ノ俸給ヨリ幾分ヲ出金セシメ遺屬ノ者ニ退隱料ヲ給スル良法アル所ナリ

六 官吏ノ義務ハ多クハ其權利ヨリ自然生スルモノナリ其他長官ニ對スル恭順ト國君及ヒ邦土人民ニ對スル忠節及ヒ職務上ノ秘密ハ國家動体ノ一部ヲ爲ス所ヨリ自然ニ生スルナリ官吏ノ爲ス可キ誓約アリテ始メテ以上ノ義務ヲ生セシムルニ非ス其義務ヲ堅ク守ラシムルカ爲メナリ又誓約ハ義務ノ要件ニ非ス其義務ノ範圍ヲ變スルモノニモ非ス

長官ニ對シテ恭順ナルヘキトハ職掌ノ異ナルニ從テ之ヲ定ムヘシ行政官吏ノ長官ニ對シ恭順ナルトハ司法官吏ノ長官ニ對スルヨリハ異ナレリ行政官吏ハ其權限内ニ於テ長官ノ命ニ從フ可キトハ誠ニ嚴ニシテ財産上ノ關係ニ於テモ獨立スル者ニ非ス司法官吏ノ内裁判官ハ財産上ノ關係ニ於テ獨立スルモノニシテ公平ニ法律ヲ主ルニハ必用ナルトナリ併ナカラ行政官吏ニ於テモ長官ニ對スル恭順ハ制限ナクシテ長官ヨリ奴隸視セラル、ニ非ス其恭順ハ現ニ行ハル、法律ト道德ニ因テ制限セラル、モノナリ官吏ノ恭順ヲ其場合毎トニ定ムルトハ甚タ困難ナルモノナレ凡ソ其大略ヲ述ブレハ左ノ如キモノナリ

一 法式ニ關スル恭順長官ノ手署ノ類ニ付テ述フレハ長官ヨリ其權限内ニ於テ發シタル命令ノ法式ニ適ヒタルモノハ必ス之ニ從フ可シ併ナカラ權限外ニ於テ長官ノ私意ヨリ出タル命令又ハ法式ニ適ハサル命令例ヘハ長官ノ手署アル可キニ其手署ナキ命令ニハ從フニ及ハス何トナレハ附屬官吏ハ其長官ノ從僕ニ非ス則チ政府ノ官吏ニシテ其命令ノ法式ニ適ヒタルヤ否ヲ檢査シテ始メテ法律ニ適ヒタル命令ナルコトヲ知り得可ケレハナリ

併ナカラ職務上ノ權限爭ノ起リタルハ長官ハ之ヲ權限内トシ附屬官吏ハ之ヲ權限外トシテ命令ニ從ハサルハ其事務ヲ延滯セシムルニ至ラン此場合ニ於テハ附屬官吏ハ已レノ意見ヲ長官ニ述ヘ長官ニ於テハ其命令ヲ再考シ更ニ其命令ヲ發スルコトヲ得若

シ其命令法律ニ背クカ又ハ國安ヲ害ス可キモノナレハ暫ク其執行ヲ停メ長官ニ其意見ヲ述フヘキ義務アリ

二 如何ナル場合ト雖モ附屬官吏ハ長官ノ命ニ從テ宗教及ヒ道德ヲ破リ又ハ犯罪ニ荷擔ス可キ義務ナシ何トナレハ宗教及ヒ道德ヲ破リ又ハ罪ヲ犯スコトハ決シテ國家及ヒ職掌ノ爲ス可キ所ニ非サレハナリ且又政府ハ各人ノ權利ニテ拒ミ得可キコト信仰者カ宗旨ニ因テ禁戒セラレタルコト國民カ刑法ニ因テ爲ス可カラサルコトヲ爲スヘキコトヲ望ム可カラサレハナリ

三 法律ニ背クカ又ハ不正ノ命令ハ附屬官吏ニ於テ之ニ從フ可キノ義務ナシ止タ長官ニ已レノ意見ヲ述フルノ權ヲ有スルノミ何トナレハ附屬官吏ニ於テハ長官ノ法律ニ背キタルカ又ハ不正ナ

ル命令ヲ發シタルナリト推測ヲ爲ス可カラス又長官ニ於テハ其命令ヲ能ク檢査セサルカ爲メ誤テ法律ニ背キ附屬官吏ノ意見ニ因テ其命令ヲ改ムヘキ場合モアレハナリ

官吏ハ長官又ハ政府ニ於テ他ヨリ抗擧ヲ受ク可キ命令ヲ發セサルコトニ注意スヘシ若シ附屬官吏ノ注意ヲ爲サスシテ其意見ヲ述ヘサルハ後ニ悔ユヘキコトアラン附屬官吏ヨリ意見ヲ述フルモ長官ニ於テ其意見ヲ用ヒ其命令ヲ改メサルハ附屬官吏ハ仍ホ其命令ニ從フヘシ然レモ其命令ノ責任ハ長官ニテ之ヲ負擔シ附屬官吏ハ其責ヲ免カルヘシ若シ長官ノ命令ニ從フ可カラストスルハ政体ノ一路ニ出テサルノ害ヲ生シ且政權ヲ軟薄ナラシメ而シテ法律ニ背キタル命令ヨリハ却テ重大ナル害ヲ惹起ス

アラン

命令ノ憲法ニ背キタルハモ別ニ定メナケレハ法律ニ背キタルト同シ若シ附屬官吏ニ於テ其命令ヲ憲法ニ背キタルモノトシテ從ハサルハ國家ノ順序亂レテ無政府ノ政体ニ赴カシ

七 忠節ハ恭順ニ比スレハ其範圍甚々大ナリ恭順ハ法律ニ背カス及

ヒ法式ニ適ヒタル命令ニ從ヘハ其義務ヲ盡シタルナリ

忠節ハ其他ノ場合ニ於テモ其義務ヲ盡サ、ル可カラス中古封建時代ニ於テハ忠節ヲ以テ政度ノ一部ト爲セリ今日ニ於テハ職掌ノ權限ハ法律ヲ以テ之ヲ定メ國君ト官吏トノ關係ニ因テ事務ヲ行ハシムルニ非ス國家ノ爲メニ其事務ヲ行ハシムルモノナリ併ナカラ今日ノ國家ニ於テモ忠節ヲ陳腐ニテ無用ノモノト爲ス可カラス國君

政略論

ト官吏社會トヲ聯合協同シテ相背馳セサルモノハ則チ忠節ノアルヲ以テナリ

官吏ニシテ或ル場合ニ限り長官ト政務上ノ目的ヲ異ニシ且其目的ヲ發露スルモ之ヲ以テ忠節ヲ破リタリトス可カラズ然レモ常ニ政府ノ目的ニ背キテ事務ヲ行フハ例ヘハ王國ニ於テ共和黨ト爲リ共和政体ニ變改セントスルカ又ハ共和國ニ於テ王黨ト爲リタルハ則チ忠節ヲ破リ因テ政務ノ一路ニ歸ス可キヲ妨害セリ又政府ノ官吏ニシテ常ニ政府ニ抗抵シ政府ヲ顛覆又ハ衰弱セシメントテ企ツルハ則チ同シク忠節ヲ破リタルモノナリ政府ハ之レカ爲メ滅亡セサランコトヲ欲スレハ必ス之カ防禦ヲ爲サ、ルヘカラス又常ニ要路ノ人(諸省ノ卿)ニ抗抵スルハ恭順ニ義務ヲ盡スヘキ場合

アルモ忠節ヲ破リタル者ニシテ國家ノ秩序ヲ濫スニ至ラン官吏ニシテ政府ト目的ヲ異ニシ且抗抵スルノ意アルモ未タ他ニ之ヲ露ハサ、ルハ忠節ヲ破リタルモノトセス何トナレハ其目的ヲ隱藏シテ職務上ノ義務ヲ盡スコトヲ得レハナリ併ナカラ事務上ニ其目的ヲ露ハスハ則チ忠節ヲ破リタルモノナリ何トナレハ職務上ニ其目的ヲ露ハスニ因テ政務ノ一路ニ歸スルコトヲ妨ケ且國安ヲ害スレハナリ併ナカラ官吏ノ目的ト國体又ハ政府ノ政畧上ノ目的ト相背馳シテ官吏ニ於テ其反對スル目的ヲ言語又ハ所行ニ形ハス可シト信シ爲メニ其國ニ對シテ忠節ヲ破リ且長官ノ命ニ從フ能ハサルハ其官吏ノ正直ナル者ナレハ己レノ信スル所ト忠節トノ爭ヲ解クヨリ外(則チ辭職スルコトヲ云フ)ナシ司法官吏ハ政務ニ關係ナク又政府

ニ對シ獨立スレハ行政官吏ノ如ク必迫ノ場合ニ至ルコナシ
他國ニ奉仕シ又ハ他國ノ賞牌勳狀退隱料ヲ受クルニハ國王ノ許可
ヲ得サル可カラサルコハ則チ官吏ノ忠節ヲ守ル可キ效驗ナリ是等
ノモノハ他國ノ王又ハ其邦土官吏ト關係ヲ密着スレハナリ

八 職務上ノ秘密ハ官吏ノ義務ナリ其義務ハ制限ナキモノニ非ス職
務上知得タル事柄ヲ他ニ漏洩スルコトニ因テ國家又ハ人民ニ損害ヲ
加ヘシムルカ又ハ道德上他ニ漏洩スルコトヲ要セサル場合ニ限り其
義務ヲ盡ス可シ職務上ノ秘密ヲ制限スルコトナク一般ニ秘スルカ又
ハ殊更ニ之ヲ口實トシテ憲法及ヒ法律ニ背キタル所業ヲ隱秘スル
コト及ヒ職務上ノ秘密ヲ濫ニ形ハスコトハ則チ相對スル二箇ノ暗礁ニ
シテ(弊害)宜ク之ヲ避クヘキモノナリ

九 官吏其職務上ノ義務ヲ盡スコトヲ怠ルカ又ハ其義務ヲ破リタル時
政府ニ於テ脅迫ヲ以テ其義務ヲ盡サシメ又ハ之ヲ罰スルコトハ國家
ノ秩序ヲ紊サ、ヲシメン爲メナリ此場合ニ刑事裁判ニ付ス可キ職
務上ノ所犯ト懲戒裁判ニ付ス可キ職務上ノ所犯トニアリ刑事裁判
ハ公義ニ基キテ之ヲ爲シ懲戒裁判ハ國治ニ基キテ之ヲ爲スナリ裁
判權ト警察權トハ此裁判ニ因テ著シク分別アルコトヲ知ル刑事裁判
ハ刑法治罪法ニ因テ之ヲ爲スヘシト雖モ國家ノ利害ノ爲メ種々ノ
折衷法アリ或ハ佛國ニ倣テ上等官署又ハ特設ノ官署ノ命令又ハ許
可ヲ待テ其裁判ヲ爲サシムルアリ故ニ職務上ヨリ其裁判ヲ爲(上
等官署ノ許可ヲ得テ裁判ヲ爲スヲ得ルコト)スコトヲ得ス或ハ特設ノ
裁判所ニ於テ裁判セシムルコトアリ英國ニ於テハ此折衷法ノ設ケナ

シト雖に濫リニ官吏ニ對シ訴訟スルコトヲ得サルノ法アリ、
懲戒裁判ハ其區域廣大ニシテ刑事裁判ヲ始ム可キ理由ナキ場合ニ
於テモ亦之ヲ爲スコトアリ故ニ刑事裁判所ニ於テ放免ト爲リタル官
吏ニテモ懲戒裁判ニ於テ職務上ノ義務ヲ盡サ、ル責メヲ受ク可キ
コトアリ懲戒裁判ハ如何ナル輕犯及ヒ義務ヲ怠リタル場合ニモ之ヲ
爲スコシ然ノミナラス職務外ノ官吏ノ品行ニシテ職務ノ名譽及ヒ
信用ヲ害スルモノナレハ等シク其懲戒裁判ニ處セラルヘシ懲戒ニ
ハ呵責譴責罰金等ノ懲罰及ヒ職務停止轉職退隱等ノ如キ罰ト免職
トアリ懲罰ハ懲戒裁判ヲ用ヒスシテ長官ヨリ之ヲ科シ其他ノ罰ハ
官吏ノ爲メニハ重キ罰ナレハ裁判手續ヲ以テ隨意ニ不正ノ罰ヲ科
セサルコトニ注意ス可シ或ル國ニ於テハ免職ハ必ス通常裁判ニ因リ

職務停止轉職退隱ハ上等官署ヨリモ亦之ヲ命スルコトアリ併ナカラ
通常裁判所ノミニ限リ懲戒裁判ヲ爲サシムルハ其當ヲ得タリトセ
ス何トナレハ通常裁判所ハ官吏及ヒ人民ノ所犯ヲ裁判スルノ力ア
レレ、被告人ヲ常人トシテ裁判シ官吏タルコトニ注目スルコト少ナク且
國家ニ對シテ職務ノ必用ナルコト官吏ノ所犯ニ因テ政務ノ統一ヲ
妨クルノ弊害ヲ充分ニ顧ミルノ力ヲ有セサレハナリ通常裁判所ニ
懲戒裁判ヲ委スレハ官吏ノ利害ヲ先ニシ職掌及ヒ國家ノ利害ヲ後
ニス即チ民法ヲ先ニシ公法ヲ後ニスルモノト云フ可シ止々裁判所
ノ編制ニ因テ國家ノ利害ニ注目ス可キノ證アレハ其裁判所ノ權限
ニ委ヌルモ國家ニ對シ害アルコトナシ此ノ如キ裁判所ヲ設ケサルモ
ハ所犯アルカ又ハ其職務ニ堪ヘサル官吏ヲ免職スル權ヲ上等官署

ニ委任ス可シ

職掌ノ終リ

一 官吏ハ職務ノ爲メニ命セラレタル者ニシテ職務ヲ官吏ノ爲メニ設ケタルニ非ス故ニ其職務ヲ廢スルハ自カラ其官吏ヲ廢シタルモノトス元來職務ノ繼續及ヒ存ス可キ種類ハ國ヲ治ムル爲メニ必用ナルヤ否ニ因テ之ヲ設クヘシ併ナカラ官吏ヨリ身分ニ付テノ俸給ヲ求ムル權利ハ其職務ヲ廢シタルカ爲メ消滅スルモノニ非ス若シ其職掌ノ繼續スル時ハ官吏ヨリ求ムルコトヲ得ル時間中ハ其權ヲ失フ者ニ非ス

二 任命セラレタル職務ヲ受クルト辭スルトハ官吏ノ自由ニ任セルカ如シ其後自カラ辭職スルモ亦タ隨意タルヘシ併ナカラ任セラレ

タル職務ヲ受クルコトノ隨意ナルカ爲メ直チニ一タヒ受ケタル職務ヲ何時タリトモ放棄スルコトヲ得ス何故ナレハ義務ヲ自カラ負擔スルトセサルトノ隨意ナルカ如ク一タヒ負擔シタル義務ヲ隨意ニ放棄スルコト能ハサレハナリ併ナカラ職務ハ専ラ精神及ヒ氣力ヲ要スルモノナレハ脅迫ヲ以テ隨意ニ之ヲ生セシムルコト能ハサレハ強ヒテ其職務ヲ辭スルコトヲ肯セサルコトハ却テ國家ノ爲メトナラス併ナカラ其職務カ國民一般ノ義務ナリシトハ強ヒテ其期限中ハ其職ヲ辭セサラシムルモ可ナリ

官吏職ヲ辭スルモ直チニ其職務上ノ義務ヲ解キタルモノニ非ス畢竟官吏ハ隨意ニ其職ヲ離ル、コト能ハス隨意ニ之ヲ離ル、トハ謀叛ト云フモ可ナリ又辭職ハ止タ初メ任命シタル政府ヲシテ其職ヲ取

上ケシムル十分ノ理由ト爲ルモノナリ政府ヨリ其官吏ノ職ヲ取上ケタルト始メテ其職務上ノ義務ヲ免カル、ナリ故ニ其職ヲ取上クル期日ニ國ヲ治ムル法ノ如何ニ因テ上等官署ニテ之ヲ定ムヘキモノナリ

辭職シタルカ爲メ官吏ノ職ヲ取上ケタルトハ其職務ニ附着スル權利即チ公法上及ヒ民法上ノ權利ヲ廢棄スルモノトス

三 官吏ヨリ退隱センコトヲ求メ得ルトハ前項ノ限リニ在ラス此場合ニ於テハ職務ノ權限ハ失フヘシト雖モ其人ニ屬スル尊號等級及ヒ退隱料ヲ求ムル權ハ失フ者ニ非ス退隱料ノ多寡ハ通常在職年限ト年齢トニ因テ之ヲ分テリ退隱料ヲ求ムル權利ハ久シク職務ニ在リテ三十年又ハ四十年「老年」獨逸國ニ在テハ七十歳自耳義ニテハ六

十五歳ニ爲リタルニ因リ生スルモノアリ又ハ老年ニ爲ラスト雖モ職務ヲ奉スルコト能ハサル疾病等ニ因リ生スルモノアリ職務ヲ奉スルコト能ハサル場合ニ於テ退隱料ヲ求ムル權ハ止タ其職務ヲ奉スルコトニ因テ身体不具ト爲リ之レカ爲メ其職ヲ奉スルコト能ハサルトニ限リ生スルモノナリ何故ナレハ職務ノ爲メニ身体不具ト爲リタル者ニ其損害ヲ償フ可キ政府ノ義務ハ普通ノ條理ニ基クモノニシテ恰モ委任セラレタル者カ委任ヲ受ケタルコトヲ得ルトニ受ケタル損害ヲ委任者ヨリ償フ可キト同一ノ理ナリ

四 官吏ノ意ニ反シテ其職ヲ免シ得ルヤ否ニ付テハ各國自カラ異ニセリ舊獨逸帝國ノ時世ニ於テハ法學者ノ論ニ從テ官吏ノ身体ヲ保護スルコトヲ先ニシテ職掌ヲ後ニセリ職掌ハ終身官吏ニ與ヘタル權

利ニシテ政府ハ隨意ニ之ヲ奪フ可カラサルモノトシ止タ官吏カ其職務上ノ義務ヲ破リタルハニ限り裁判ヲ以テ其職ヲ奪フヲ得可シトセリ併ナカラ官吏ノ面目ヲ損セスシテ其職ヲ免スルヲハ又國治ノ爲メニ必用トスルノ説モアレハ次第ニ前説ヲ擴張シテ近來ハ其説ヲ憲法ニ掲ケ政府ノ壓制ニ對シ官吏ノ身体ヲ保護スルノ要具ナリトスルニ足レリ併ナカラ英國ニ於テハ職務ハ國家ノ爲メニアルモノニシテ人ノ爲メニアルモノニ非サルノ輿論ニ基キ職務ノ國治ニ必用ナルコトニ注意シ國王ハ先キニ職務ヲ任シタルカ如ク又之ヲ奪フヲ得而シテ國王ノ權ハ無限ノモノトセリ止タ裁判官ハ獨立シテ公平ナル裁判ヲ爲サンカ爲メニ國王ヨリ其職ヲ奪ハル、コトナシ

「ウイリヤム」第三世ノ時代ニ國王ヨリ裁判官ヲ隨意ニ免官スルコト得ルノ法ヲ廢シ其職ニ適セサル裁判官ハ國王ト議員トノ見込ニ從テ之ヲ免スルコトヲ得ルコトニ定メリ北亞米利加合衆國ニ於テモ亦英國ノ如シ(裁判官ハ前ノ如シ行政官ハ勝手ニ免職セシム)佛國ニ於テモ古來ヨリシテ行政官ハ何時ニテモ免スルコトヲ得裁判官ハ古來ヨリシテ免スルコト能ハサル者ト定メリ併ナカラ佛國ニ於テハ實際行政官吏ヲ理由ナクシテ免スルコトナシ止タ變革又ハ黨派ノ爭論ニ因テ免スルコトアルノミ獨逸ニ於テハ官吏ノ私有權ヲ甚シク保護スルノ弊アリ若シ其弊ヲ除キ且職務ノ國治ニ必用ナルコトニ着目スルコトニ至レハ他國ニ比較スルハ官吏ノ私有權ヲ保護スルノ善アルノミナラス又國家ヲ靜

謐ナラシメ而シテ黨派ノ争亂ヲ防クヲ得ルノ善良ナルヲアルヲ見ルナリ

職務ハ國家ノ爲メニ在ルト謂フ所ノ主義一定スレハ政府ハ國治ノ爲メ官吏ヲ任スルカ如ク亦其政府ハ國治ノ爲メ其職ヲ奪ヒ之ヲ他人ニ任スルノ權ヲ有セサル可カラス而シテ其權ハ其職ヲ設ケタル人ト同人ニテ有ス可シ故ニ其人ノ疑ハシキハ國王自カラ有ス可シ又裁判ヲ以テ其職ヲ免スル國ニ於テモ亦然リ但其職ヲ免スルカ爲メ私有權ヲ害セサルニ限ルヘシ

前文ノ通則ニ二ノ制限アリ一ハ政府ニ對シ獨立シテ法律ヲ主ラシムルカ爲メナリ(司法省)二ハ官吏ノ私有ヲ保護スルカ爲メナリ一ノ制限ニ付テハ現今ノ國家ハ獨立シテ法律ヲ主ランヲ緊要ナリ

トシ裁判官タル者ハ其意ニ反シテ政府ヨリ之ヲ免職シ又ハ之ヲ轉職セシムルヲ得ス又俸給ノ全額ヲ給セサレハ退隱セシムルヲ得ス其他英國ニ於テハ裁判官ノ職務ヲ免スルニハ議院ノ決議ヲ要シ獨逸國ニ於テハ裁判判決ヲ要スルモノナリ

二ノ制限ニ付テハ種々ノ場合ヲ分別ス可シ則官吏ノ職務ヲ免スルノ理由ハ左ノ如シ

- 一 犯罪ニ因テ職務上ノ名譽ヲ汚カシタル
 - 二 職務ニ必用ナル勉勵又ハ氣力ヲ有セサルカ爲メ其職ニ堪ヘサル
 - 三 職務ヲ奉スルニ必用ナル精神ヲ有セサル
- 又ハ愚鈍ニ爲リタル

四 官吏ノ身体ノ外ニ理由アリテ(例ヘハ「スタイン」カ「ナポレヲ

シ」ニ惡マレテ追拂ハル、カ如シ)其職務ヲ延滞セシメ又ハ信用ヲ失ヒタルハ例ヘハ内亂又ハ外患アルハ官吏ニ於テ其義務ヲ盡シタル爲メノミナラス却テ十分ニ其力ヲ盡シタルカ爲メニ其信用ヲ失ヒタルカ如シ(例ヘハ「ミニストル、スタイン」カ「ナポレヲシ」第一世ノ信用ヲ失ヒタルカ爲メ免職セラレタルカ如シ)

此場合ニ於テ政府ハ官吏ノ職ヲ免シテ公ケノ害ヲ防ク可キ方法ヲ設ケサル可カラズ

一ノ場合ニ於テハ裁判所ニ於テ刑法ニ從テ斷決スルヲ至當ナリトス故ニ裁判手續等モ都テ裁判所ニ委任シ且免職スルニ因テ尊號等級俸給退隱料ヲ求ムル權ヲ自然失フヘシ二ノ場合ハ懲戒裁判ニ付

スルヲ至當ナリトス通常裁判所ニ付ス可カラスト雖モ官吏ヲシテ十分ニ答辨ヲ爲サシム可シ其場合ノ輕重ニ從テ止タ退隱料ヲ失ハシメ其他ノ公權ヲ失ハシメスシテ其職ヲ免スルコトアリ又ハ相當ノ退隱料ヲ與ヘテ退隱セシムルコトアリ

退隱料ヲ給シテ退隱セシムルコトハ政府ノ隨意ニスヘシ何トナレハ之レニ因テ官吏ノ私權ヲ害セス止タ其職務ヲ失フノミ三ノ場合ニ於テハ通常止タ退隱セシムヘキモノニシテ其職ヲ免スルモノニ非ス何トナレハ官吏ニ過誤アルニ非スシテ其精神ヲ失ヒタルカ爲メニ免スルモノナレハナリ

四ノ場合ニ於テハ退隱セシムルコトアリ又ハ同一ノ等級ト同一ノ俸給ヲ給シテ轉職セシムルコトアリ三四ノ場合ニ於テハ上等官署ニ於

テ能ク其場合ヲ検査シ若シ國王ヨリシテ任シタルモノナレハ國王ノ許可ヲ得テ其職ヲ免スヘキモノナリ

理由ナクシテ政府ヨリ氣隨ニ其官吏ノ職ヲ免シ且官吏ニ答辨ヲ爲サシメサルコトハ大ニ善良ナル官吏編制法ニ背キタル者ナレト近來ニ至テモ多ク其法ノ行ハル、國アリ

五 一時職務ヲ停止スルコトハ罰トシテ科スルコトアリ又ハ國治ノ爲メ臨時便宜法トシテ之ヲ用フルコトアリ罰トシテ科スル場合ニ於テハ裁判所ニ於テ治罪手續ノ爲メ又ハ懲戒裁判ノ爲メ上等官署ニ於テ其罰ヲ科スルコトヲ得其罰トシテ科セラレタルハ官吏ノ職務ヲ停止シ其期限内俸給ノ全部又ハ一部ヲ失フ可シ
臨時便宜法トシテ科スル場合ハ法律ヲ以テ豫シメ定ムルコトヲ得例

ヘハ犯罪ノ爲メ告訴ヲ受ケタルカ如シ又ハ其都度上等官署ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得例ヘハ退隱料ノ規則ヲ定メサルハ惡マル、官吏ヲ一時保護シテ非常ノ抗擊ヲ受ケサラシムルカ如シ

職務停止ヲ罰トシテ科セサル場合ニ於テハ官吏ノ私有權ヲ失ハシム可カラスト雖モ必ス其金額ヲ求ムルノ權ヲ有セサラシムヘシ何トナレハ俸給ノ一部カ私有ニ屬スル者ニシテ即チ身分ニ付テノ俸給ハ之ヲ失ハシムルコトヲ得サレハナリ

犯罪ニ因リ審問ノ時間職務ヲ停止セラレタルト雖モ先ツ俸給ヲ求ムル權ハ其儘繼續スヘシ併ナカラ裁判所ニ於テ損害賠償及ヒ罰金ノ爲メ其俸給ヲ差押フルコトハ格別ナリトス其後判決ヲ受ケタルト始メテ其俸給ヲ求ムル權ヲ失フヘシ

國家ノ目的

スカーツツツエシ

第一章 國家ハ目的ナルカ又ハ方法ナルカ如何ナレハ目的ナルカ又

ハ方法ナルカ

國家ハ目的ナルカ又ハ方法ナルカノ問題ヲ詳カニ言ヘハ國家ハ國家自カラ目的ヲ有スルカ又ハ特ニ各人ノ目的ヲ達スルカ爲メノ方法トナルカト云フナリ

古ノ國法學者殊ニ「ギリシヤ」人ハ國家ハ人間ノ最モ高上ナル目的トシ則チ國家ハ高上ナル人間ナリトシ國家ハ自カラ目的ヲ有スル者トセリ果シテ然ラハ一箇人ハ國家ノ一部ニシテ獨立シタルモノニ非ス國家モ亦一箇人ノ爲メニ存スルモノニ非ス一箇人ハ却テ國

家ノ爲メニ存スルモノナリ恰モ一部ハ全部ノ爲メニ存シ四肢ハ全体ノ爲メニ存スルカ如シ故ニ一箇人ノ幸福ハ國家ノ幸福ノ爲メニハ犠牲ト爲ル可シ止タ國家ノ幸福ノ爲メニ必要ナルトキニ限り存スルコトヲ得ルノミ又一箇人ノ自由ハ國民自由ノ一部ト解シタリ若シ一箇人ノ自由ニシテ國民ノ幸福及ヒ國家ノ方向ニ反對シ自己ノ方向ヲ定メントスルモ國家ヨリ保護ヲ受クルコトナク又ハ勸獎セラレ、コナシ

古ノ國法學者ニ反對スル說ハ英國及ヒ北亞米利加ニ始レリ其說ハ國家ハ己レノ目的ヲ有スルモノニ非ス止タ一箇人ノ幸福ノ爲メニ存スル方法ナリト「マコーライ」氏ノ說ニ從ヘハ古ノ政略及ヒ「マヒヤウエリ」氏（中古ノ伊太利人）ノ政畧ハ社會及ヒ法律ハ一箇人ノ幸福ヲ

増ス爲メニ存スル者ナルコトヲ覺ラサレハ方今ノ政略ニ劣リタル所アリト此反對説ニ從ヘハ國家ハ器械ニシテ一箇人ノ身体、財産、自由ヲ保護スル者ナリ又ハ一箇人ノ幸福安寧若クハ數人ノ幸福安寧ヲ勸奨スル人造物ナリ又「バコン」氏伊太利人以來政略家及ヒ學者ニ於テ大ニ此反對説ヲ主張セリ國家ヲ以テ一箇人ヨリ成立シタル社會ト看做スモノハ固ヨリ此反對説ヲ主張ス可シ「マコーライ」氏ハ近來國家ノ改良ニ赴クコトハ專ハラ此反對説ノ効驗ナリト言ヘリ「ロ―ベルトホンモール」氏ハ一箇人及ヒ一箇人ノ爲メニ存スル人造物ニ就テノ問題ニ於テニツノ者一箇人ト人造物ヲ指スノ輕重ヲ同一ナラシメントスルハ趣意ノ立サル説ナリト云ヘリ

余考フルニ往古ノ説及ヒ方今ノ説ニ於テハ各其眞理ヲ含メリト雖

モ惜ラクハ止ター一方ニ僻シテ他ノ一方ヲ滅スルノ誤リアリ

國家ハ目的ナルカ又ハ方法ナルカノ問題ヨリ一方ニ僻スルノ誤解ヲ來セリ同一ノ物ト雖モ一方ヨリ觀レハ他ノ目的ヲ達スルノ方法トナリ又他ノ一方ヨリ他ノ方向ニ於テ之ヲ觀レハ自己ノ目的ヲ有シ得レハナリ畫又ハ偶像ハ技術者ノ活計ノ爲メ又ハ販賣者ノ利益ノ爲メト爲ル者ナレト精巧ナル技術物ハ又技術上ノ目的ヲ含メルニ非スヤ技術物ニハ技術者ノ感覺及ヒ思考ヲ露ハスモノニシテ則チ技術上ノ目的ヲ有スルモノナリ婚姻ハ男女ノ情慾ヲ滿タシ且生計ヲ幸福ナラシムル者ナレト一方ヨリ觀レハ男女兩性ヲ合同シテ家屬ヲ作り以テ夫妻及ヒ親屬ノ上ニ位スル一合体ト成ルモノナリ夫妻及ヒ親屬ハ各其私慾ヲ棄テ、婚姻及ヒ家屬ノ目的ヲ達セシメ

ント欲スルナリ國家ニ於ケルモ亦同シク一方ヨリ觀レハ一箇人ノ爲メニ存シ又他ノ一方ヨリ觀レハ自己ノ目的ヲ有シ一箇人ハ其目的ノ爲メトナル可シ。

古ノ國民ニ偏シテ一箇人ヲ顧ミサル說ハ一箇人ノ自由及ヒ幸福ヲ害スルコト甚シク遂ニハ無限ノ國權ヲ主張シ甚シキニ至テハ無限ノ壓制ニ變スルニ至ラン。

方今ノ說ハ樹木ヲ知リテ森林ヲ知ラサルカ如キ說ニシテ國家ノ尊位ヲ害シ遂ニハ國家ヲ分別シテ一箇人ノ集合ト爲シ甚シキニ至テハ無政府トスルノ害アラン。

古ニ在テハ一箇人ノ自由ト幸福トヲ保護勸獎スヘキ國家ノ急務ヲ怠レリ其急務ヲ盡シタルコトハ則チ近來ノ所行ナリ若シ方今ノ世ニ

於テ一箇人ノ幸福ヲ顧ミス止タ國家ノ爲メニ自由ニ之ヲ興廢セシムル所ハ如此政略ハ諸人ノ嫌忌スル所ナリトス又法律及ヒ政府ノ職掌ハ一箇人ヲ主治スル爲メノミニ存スルニ非ス專ハラ一箇人ノ爲メニ存スル者ナルコトハ世人ノ偏ク知ル所ナリ則チ近來國家ニ公益トナル建造物ヲ設クルコトハ以上ノ輿論ニ基テ設ケタルナリ又近來一箇人ノ自由特ニ宗教及ヒ言論ノ自由ヲ勸獎スルモ又以上ノ輿論ニ基クモノニシテ宗教ノ爲メニハ耶蘇宗一箇人ノ自由ノ爲メニハ獨逸人ノ氣性カ最モ其助ケヲ爲セリ併カラ國家ハ止タ一箇人ノ爲メニ成立ル者ニシテ國家ノ行政ハ止タ一箇人一般ノ幸福ノ爲メニスル者ナリトスルハ論理上及ヒ政略上ノ誤リナリトス其說ハ國家ヲ分離シ及ヒ國法ヲシテ止タ民法ノ爲メニ存セシムルナリ若シ

國家危急存亡ノ時庶民好テ重大ナル義務ヲ負ヒ及ヒ國家ノ爲メニ家屬ノ靜謐及ヒ生命ヲ放擲スルコトハ則己レヲ後ニシテ國家ノ幸福安寧ヲ先ニスルニ非サレハ能ハサルコトナリ若シ國家ハ一箇人ノ爲メニ存シ國民ノ生命ハ一箇人ノ生命ヨリ尊カラストスルハ古來英雄ノ大業ハ一時ノ興ニ乘シテ爲シタル徒業ニ非スヤ庶民ハ國ノ危急存亡ノ時ニ當リ國家ハ相互ノ保險組合ヨリハ全ク異ナル高尚ナル動躰タルコトヲ知レハナリ此時ニ當テハ一箇人ノ私慾ハ變シテ愛國心ト爲リ庶民悉ク國家ニ對スル義務ヲ盡ス可シ國民ハ國家ニ屬スル一箇人ノ總數ヨリハ他ノ者トシ又國民ノ幸福ハ一箇人ノ幸福ノ總數ト同シキモノニ非スト併カラ國家ノ幸福及ヒ一箇人ノ幸福ハ全ク相離ル、モノニ非ス相互ニ密着スルモノニシテ一方ニ増

減ヲ爲セハ又他方ニモ増減ヲ爲シ同時ニ増減ヲ相爲スモノナリ若シ庶民ノ幸福減スレハ國家モ又從テ其損害ヲ受クルモノナリ併カラ此兩種ノ幸福ハ常ニ其方向ヲ同クスルニ非ス時トシテハ相頡頏シ時トシテハ相隔離スルコトアリ則チ國家ノ存亡ヲ助クルカ爲メ又ハ後世ノ爲メニ現在ノ人ニ重大ナル義務ヲ負ハシムルニアリ又一箇人ノ爲メ國家ヨリ莫大ノ救助ヲ求メ之レカ爲メ國家ニ莫大ナル負債ヲ負ハシムルコトアレハナリ

之レニ因テ之ヲ觀レハ國家ノ目的ヲ定ムルニハ如何ナル要件アレハ國家ハ一箇人ノ爲メニ成立シ又如何ナル要件アレハ國家自カラ目的ヲ有シテ一箇人ヲ犠牲ニ供スルコトヲ得ルヤヲ講究スルニ在リ

第二章 國家ノ目的ヲ誤認スルコト

一 實際且專ラ學說ニ於テ上長官特ニ國王ノ臣下ヲ總統スルヲ以テ國家ノ目的トスルモノアリ

若シ總統ヲ以テ國家ノ目的トセハ其總統ノ範圍ヲ廣メ且制限ナカラシメ遂ニハ制限ナキ一王國ヲ作ルニ至ラン若クハ一壓制國ヲ以テ國家ノ目的トスルニ至ラン然ル時ハ國民ノ自由ヲ擴張シ及ヒ人間ト勢力ヲ發達スルヲ能ハサル可シ

以上ノ論義ハ人間普通ノ性質及ヒ國家ヲ作ル可キ天稟ニ基テ起リタルモノニ非ス主治者ノ總統心及ヒ自設ニ因ルモノナリ

「アリストーテレス氏ハ左ノ名言ヲ以テ以上ノ僻說ヲ駁セリ

主治者ノ利益ヲ謀ル政度ハ國家ノ爲メニ弊害アル變態ナリト以上ノ僻說ハ國家ニ國民アルヲ顧ミス又被治者ハ主治者ト同シク人

間ニシテ器量感覺勢力ヲ有スレハ主治者ノミヲ人間トシ被治者ハ止タ其總轄ヲ受ク可キ物件ナリト看做スハ甚タ穩當ナラサル可シ故ニ奴隸ヲ廢ス可キ理由ハ又此壓制ヲ廢ス可キ理由トナルナリ

國家ニ於ケル總督ハ國權ノ性質ニシテ國家ノ目的ヲ達スル方法ニハ非ス畢竟國家ニ於ケル總督ハ國民ニ對スル義務ニシテ主治者ノ愉快ト爲ル者ニ非ス

是故ニ國家ニ於ケル總督ハ又國憲ノ制限ヲ受ケサル可カラズ無限ノ總督ニ非スシテ國憲ノ制限アル總督ハ即チ成熟シタル國家ノ本體ニ適スル者ナリ若シ始メ善良ナル總督ト雖モ後チ國民ノ情況ノ變スルニ從テ之レニ適セサルカ若クハ國民ノ害ト爲ルハ古來ノ總督ヲ變セスシテ子孫ニ傳フルヲ以テ政略ノ急務ト爲スコカラス却

テ其總督ヲ變シテ國民ノ情況ニ適セシムルハ政略ノ急務タル可シ
 二 神治國法學科ハ人間世界ハ神世界ヲ設クルヲ以テ國家ノ目的
 ト爲セリ「スタール」氏ノ說ニ國家ノ職務ハ天帝ニ仕へ公義正直及
 ヒ懲戒又ハ風俗ハ天帝ノ命令ニ從テ之ヲ掌トリ國家ノ總督ハ天帝
 ノ總督ナリトセリ中古ノ時代ニ於テハ耶蘇宗信仰者及ヒ回々宗信
 仰者中ニ此說ヲ信仰シタリ近世ト雖モ宗教ノ爲メニハ此說ヲ駁セ
 ス則チ天帝ノ威光ヲ以テ世界ヲ開明ナラシムルトスルコトハ可ナリ
 トスレモ人間世界ノ國家ニ天帝世界ノ總督ヲ設ケシメントスルコ
 トハ甚タ不可ナリトセリ

又神治國法學ニ於テハ國王ノ國民ヲ總督スルコトハ恰モ天帝ノ世界
 ヲ總督スルニ同シ併カラ此比例ハ甚タ誤レリトス何トナレハ天帝

ノ世界ヲ總督スルハ無限ノ靈體ヲ以テ有限ノ動體ヲ總督スル者ニ
 シテ則チ人ノ智ヲ以テ其原因及ヒ方法目的ヲ確定スルコト能ハサル
 造物者ノ造リタル萬物ヲ統治スルナリ併カラ國王ノ國民ヲ總督ス
 ルコトハ人間ニシテ人間ヲ總督スルコトニシテ則チ國王ハ其生命及ヒ
 性質ニ限リアル已レト同一ノ動體ヲ總督スレハ被治者ニ於テモ亦
 國王ノ生命性質ニ限リアルコトヲ推測スルコトヲ得レハナリ
 故ニ國王ヲ神ト同一ニ看做スノ說ハ全ク誤レリ且此說ハ國王ヲシ
 テ傲慢ノ心ヲ懷カシムルヲ以テ大ニ弊害アリ畢竟國家ノ目的ハ率
 子人ノ智識ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得且之ヲ達スルコトヲ得可キモノ
 ナリ

三 國家ノ目的ヲ國民及ヒ國土外ニアリトシ國家ハ止タ國家外ノ

目的ヲ達セシムル爲メノモノナリトスルハ是レ亦誤ナリトス「カソレツク」宗黨派ニ於テ羅馬法王ノ國ヲ立ツルヲ要スル理由ハ法王ヲ羅馬國王トシテ「ローマンカソレツク」宗ヲ獨立セシメ且其權カヲ盛大ナラシムルニ在リ併カラ此說ハ識ラス知ラス羅馬法王國ヲ設ク可カラサルノ理由ヲ主張シタルナリ何トナレハ國家外ニアル所ノ「ローマンカソレツク」宗ノ爲メニ國家ヲ設ケ己レノ目的ノ爲メニ使役セント欲スルノ趣意ナレハ羅馬國ノ獨立則國家タルノ趣義ヲ自カラ斥クレハナリ又此說ハ宗教ノ爲メ羅馬國民ヲ奴隸タラシメント欲スル者ニシテ國民ノ^(政事)性質及ヒ宗教ノ性質ニ於テモ取ル可カラサル說ナリ歴史ニ因テ觀レハ此說ハ實際其結果ヲ奏セサリシナリ一休羅馬ハ「カソレツク」宗ニ屬シタルモノニ非ス羅

馬人ニ屬シタルモノナリ詳カニ之ヲ言ヘハ羅馬人ノ元種ナル伊太利人種ニ屬シタルモノナリ

併カラ今日ト雖モ以上ニ類スル誤リアリ公國^(リヒテンス)タイン

ハ其國土及ヒ國民ノ爲メニ成立スルニ非ス此國ハ他國ノ權力則輿地利ノ爲メニ成立シタル者ニシテ自己獨立ノ目的ヲ有スルニ非ス

第三章 國家ノ目的ヲ定ムルコトノ不十分ナルコト又ハ其度ヲ越ユルコト

一 「カント」氏及ヒ「フヒヒテシ」氏以來獨逸國ニ於テ國家ノ目的ハ止タ權利ヲ保護スルニ在リト言フノ說久シク行ハレリ權利ヲ保護スルトハ或ハ專ハラ一箇人ノ權利ヲ保護スルニ在リトスル者アリ或ハ止タ一箇人ノ權利ヲ保護スルニ在リト言フ者アリ

「カント」氏ノ說ニ國家ノ目的ハ國民ノ幸福及ヒ歡樂ニ在ルニ非ス

政度ヲシテ法理ニ協ハシムルニ在リト「フヒヒテシ」氏ノ説ニ庶人ノ權利ヲ防護スルハ一般普通ノ慾情即チ國家ノ慾情ナリト言ヘリ「カント」氏ノ説ニ因リ「ウイルヘルムホンフンボルト」氏ハ國家ノ目的ヲ定ムルニ付キ大ニ其範圍ヲ狹小ニセリ其説ニ國家ノ目的ハ外患内亂ヲ防禦スルニ在リト仍ホ近來ニ於テモ「ヨートフヨース」氏ハ國家ノ目的ハ一箇人ヲ保護スルニ在リト言ヘリ

此等ノ説ハ千七百年代ノ末ニ起レリ此時代ニ於テハ一般ノ幸福ヲ圖ル爲メニ人民ノ家事ニ立入り及ヒ職業ノ自由ヲ妨ケ私有財産ノ管理ニ立入り人民ノ幸福ヲ圖ラントシテ却テ人民ノ自由ヲ抑壓シタリ故ニ此説ヲ以テ壓抑ニ抗抵シタルナリ而シテ其説ニ因テ目的ヲ定メタル國家ヲ法律國ト云ヒ人民ノ家事ニ立入ル可

キ目的ヲ定メタル國家ヲ警察國ト云ヒ甚タ嫌忌スヘキモノトセリ

併カラ以上ノ説ノ如ク國家ノ目的ヲ定ムルニ付キ其範圍ヲ狹クシタル説ハ開明國民ノ思想及ヒ要求ヲ満足セシムルニ足ラス固ヨリ何人タリトモ權利ヲ維持保護スルコトハ國家ノ一目的タルコトハ之レカ疑ヲ入レスト雖モ之レノミヲ以テ國家ノ目的トスルコトハ當然ナリトセス此説ノ主張者ト雖モ數年ノ實驗ニ因テ持論ヲ廣メ眞成ノ目的ヲ考究スルニ至レリ「フヒヒテ」氏ハ初メニ於テハ所有權ヲ保護スルヲ以テ國家ノ目的トシタレ_レ後ハ「ナポレヨン」第一世ノ世界一統帝國ヲ設ケントスル趣義ニ對シ族民（言語ヲ同一ニスル國民）ヲ一統スル國ヲ立テ國民ヲ満足セシメントシタリ（ナポレヨン帝ト雖モ所有

權及ヒ所得權ヲ保護センノ主義ナリシ「ウイルヘルムホンフンボルト」氏ハ初メニ於テハ教育ノ事ヲ擯斥シタルニ後普國ノ外務卿トナリテ官立學校ヲ設ケテ國民ノ學識ヲ博クシ且普國ノ威權ヲ外國ニ對シ擴張セント欲シタリ（普國ハ以前ヨリ已ニ民事刑事ニ關シテハ十分威權ヲ有セリ）

又實際ニ於テモ權利ヲ保護スルヲ以テ國家ノ目的トスルコトハ甚々現今開明諸國ノ目的ニ適當セサルモノナリ然レモ中古ノ時代ニ於テ民法ト公法トノ分界ノ未タ定ラサル國ニ於テハ適當シタリシナラン

國民ノ生計ニハ止タ權利ヲ保護スルヲ以テ足レリトスル者ニ非ス又法律ヲ保護スルヲ以テ得可カラサル經濟上ノ建築物（道路掘割郵便等ノ）ヲ必用ナリトス是等ノ建築物ハ國家自カラ之ヲ作ルコトヲ得

レモ一箇人ニシテハ之ヲ作ルコトヲ得ス而シテ以上ニ言フカ如キ法律國ノ說ニ從ヘハ國家ハ更ニ之ヲ必要ナリトセス又國民ハ教育ヲ必要ナリトス國家ハ教育ノ方法ヲ定ム可シ則チ小學校學術技藝ニ關スル學校ヲ設ク可シ此等ノ學校ハ一箇人及ヒ寺院ニ托シ置ク可キモノニ非ス必ス國家ニ於テ之ヲ總轄ス可キモノナリ中古ノ時代ニ於テ國家ノ教育ヲ等閑ニセシコトハ則チ當時國家ノ目的ハ止タ權利ヲ保護スルニ在リトシタルニ因ルナリ

又國民ハ自然政務ニ關スルノ一休ナレハ一箇ノ性質ヲ備ヘ且其精神ヲ外ニ形ハス可キナリ則チ一箇人ノ權利ヲ保護スル爲メニ法律ヲ設ケ及ヒ裁判ヲ爲スノミナラス又政務ヲ行ヒ及ヒ國民ノ自由ヲ伸張ス可キナリ

以上言フカ如キ狹キ國家ノ目的ヲ實際ニ施スルハ左ニ掲クルカ如キ關涉ヲ生ス可シ

- 一 一般經濟上ノ利益ヲ顧ミサルニ至ル
- 二 一般ノ教育ヲ顧ミサルニ至ル
- 三 國民ノ政務ニ關スル思想ヲ壓抑シ隨テ國力ヲ減スルニ至ル
- 四 專ラ法律ヲ保護シテ人心ヲシテ偏小ナラシメ爲メニ紛議ヲ増シ國權ヲ減耗スルニ至ル

二 又國家ノ目的ハ一般ノ安樂ヲ圖ルニ在リト言フ説アリ此説モ亦前説ト等シキ誤謬アリ元來此説ハ國家ノ目的ヲ廣大ニ定メリ畢竟人間ノ安樂ハ國家ニ關係ヲ有セサル者ニシテ且國家ヨリ受ケ得ル者ニ非ス則チ人間ノ安樂ノ根元タル財産及ヒ住居飲食衣服ハ國家

ヨリ得ルモノニ非ス人々各其勞力ニ因テ得ルモノナリ又人間ノ學識無形ノモ國家ヨリ得ルモノニ非ス則チ其人ノ器量ハ國家ヨリ與ヘラレタルモノニ非ス則チ天稟ノモノニシテ人々各異ナレリ又信睦及ヒ愛情ハ國家ヨリ受クルニ非ス又眞理ヲ研究シ及ヒ詩作ニ卓越ナル等凡百ノ技藝モ亦國家ヨリ受クルニ非ス又神ヲ信シテ其心ヲ清潔ナラシムルコトハ國家ノ爲シ得可キコトニ非ス

凡人間ハ國家ノ爲メニ其身ヲ致スノミナラス又自己ノ爲メニ竭クス可キコトアリ國家ハ國民ノ互ニ協同スル自然ノ性質ニ因テ成立ツ者ニシテ一箇人ノ各別ナル性質ニ因テ成立ツ者ニ非ス故ニ國家ノ目的ハ一箇人ノ目的ヲ含蓄スルモノニ非ス
此説ヲ實際ニ施スルハ又左ニ掲クルカ如キ弊害ヲ生セン

- 一 國家ハ關係ヲ爲ス可カラサル區域ニ立入り且一箇人ノ自由ヲ奪ヒ終ニ壓制ヲ爲スニ至ル可シ
- 二 國家ハ一箇人ノ生計ヲ治ル爲メノ能力ヲ有セサレハ一箇人ノ幸福ヲ圖ラント欲スルモ之ニ關涉スルハ却テ其幸福ヲ害スルニ至ル可シ
- 三 國家ノ達スルコト能ハサル目的ヲ達セントシテ國力ヲ費消スルハ其方向ヲ誤リ且達スルコトヲ得キ目的ヲ達スルノ國力ヲ失フニ至ル可シ

古昔ノ國家ハ大ニ其目的ヲ誤リ千七百年代ノ政畧モ亦同シク其方向ヲ誤レリ現今國家ノ目的ヲ定メントスルニハ先ツ其範圍ヲ定ム可シ

第四章 真正ナル國家ノ目的

一 國家ハ如何ナル者タルヤノ主義ハ既ニ已ニ一定セリ併ナカラ其國ノ異ナルト時世ノ違フトニ因テ各其組合ニ違ヒアリ又歴史ニ徴スルニ國民ノ異ナルニ從テ其目的ヲ異ニスレモ已ニ其主義ノ一定セシ上ハ一般普通ナル一定ノ目的ヲ定メサル可カラス勿論國家ノ目的ヲ一定セシト雖モ止タ普通ノ目的ヲ定ムルモノニシテ各國自カラ少シク其異ナリタル目的ヲ有スルモ敢テ一般ノ目的ヲ定メシコトニ妨ケナシトス「ローベルトホンモール」氏ノ說ニ曰ク國民ハ其種族及ヒ利害ヲ異ニスルニ因テ各其目的ヲ異ニスト併ナカラ此說ハ國家ノ目的ヲ一定セサルノ誤リアリ「ホンホルチエンドルフ」氏ハ前說(モール氏ノ說ナリ)ニ反シテ國家ノ目的ハ和合セリト言ヘリ

二 一定ノ目的トハ如何ナルモノヲ言フカ或ハ曲直ヲ正スニアリ
 則チ法律ヲ施用スルニアリト言フモノアリ此說ニ於テ法律トハ國
 法及ヒ万国公法ヲモ含蓄スルモノニシテ獨一箇人ノ權利ヲ保護スル
 ニ止ラストスルモ猶ホ其目的ノ範圍狹小ニシテ且適當ナリトセス
 彼ノ羅馬人ノ言ヘルカ如ク法律ハ政畧ノ基礎ナリト且國民ノ生計
 ニハ法律ヲ必用トスルノミナラス經濟教育兵力ヲ要ス可シ故ニ法律
 ニ熟達セシ羅馬人ハ法律ヲ以テ國家一定ノ目的トハ爲サ、リシナリ」
 「ヘーゲル氏ハ「プラトシ」氏ノ說ノ如ク國家ノ目的ハ道德ヲ實行ス
 ルニ在リト言ヘリ併ナカラ道德ノ根據タル天帝ノ心思及ヒ人稟ノ
 心思ハ國家ノ區域外ニ在ルモノニシテ更ニ國家ノ關涉スルモノニ
 非ス元來道德ノ區域ハ國家ノ區域ヨリハ廣大ナルモノニシテ若シ

國家ヨリ道德ノ區域ニ立入ラントスレハ國家ノ區域ヲ越エテ道德
 ヲ害スルニ至ラン

三 羅馬人ハ一般ノ幸福ヲ圖ルヲ以テ國家ノ目的トセリ羅馬人ノ
 言フ所ノ^{レインツィガ}共同体及ヒ^{サムソツィガ}一般ノ幸福ノ二語ハ言語及ヒ思考ニ於テモ互
 ニ相分離セサルモノナリ其二語ノ關係ハ恰モ人間ノ天稟ト及ヒ之
 ヲ發達スルトニアリ

此語ハ數種ニ誤解セリ就中共同體ノ語ヲ以テ一箇人ノ合集トシ又
 ハ主治者ノ專横トセリ又此語ヲ以テ主治者及ヒ民權黨ノ壓制ヲ蔽
 ハントシタリ又千七百九十年代ニ佛蘭西ニ於テ大革命ノ^レ設ケタ
 ル一般幸福ヲ圖ル委員ノ壓制ニ因テ此語ノ信用ヲ失ヒタリ
 併ナカラ自然ニ有スル國家ノ制限ニ背カスシテ就中法律ヲ遵奉シ

テ一箇人ノ生計及ヒ宗教ノ區域ニ立入ラサルハ此語ハ必シモ不適當ナラス如何トナレハ古來ヨリシテ人民ノ幸福ヲ圖ルヲ以テ政畧ノ目的トセサル政事家アルヲ見ス又愛國心ヲ有スル人民ハ必ス國家ノ幸福ヲ圖ルヲニ熱心スルニ非スヤ故ニ一般ノ幸福ヲ圖ルヲハ政畧上缺ク可カラサルヲナリ且人民ノ幸福ヲ勸奨スル目的ヲ以テ國家ノ急務トス可キヲハ疑ヲ入レサルヲナレハナリ

此目的ハ又小ニスレハ人民ノ權利ヲ擴張セシメ大ニスレハ一般ノ生計ヲ改良セシムルヲ含蓄セリ又法律ヲ改良シテ人民ノ安寧ヲ圖リ且一般ノ有害トナル不正ノ事ヲ除キ之ヲ處罰スルヲモ含メリ畢竟羅馬人ノ謂ヘル一般ノ幸福ヲ圖ルヲハ國家ノ急務ナリトスルノ弊害ハ國家ノ目的ヲ甚タ狹隘ニ定メタルヨリ生スルニ非ス却テ

國力ヲ增長シテ他ノ區域一箇人又ハ宗教ノコナリニ立入ルヨリ生スルナリ

四 併ナカラ此語ヲ以テ十分ニ國家ノ目的ヲ詳解スルヲ能ハス勿論平時ノ政略ニ於テハ一般ノ幸福ヲ圖ルヲ以テ目的トス可シト雖モ又タ國民ノ生計ニハ非常ノ急務アリト則時トシテハ國家ハ一箇人ノ如ク生命ヲ擲ツカ故ニ一般ノ幸福ヲモ害スルヲアル可シ此場合ニハ國家ノ名譽ヲ汚カシテ國家ノ生命ヲ存スルヨリハ却テ之ヲ擲ツヲ以テ愛國ノ義務ヲ盡ス可シ又大國ハ小國ニ對シ利益ヲ與ヘントスルヲアリ(例ヘハ大國ヨリ小國ヲ降伏セシメンカ爲メニ降伏スルハ租稅ヲ減免セントカ或ハ安寧ヲ保持シ又ハ其制度ヲ改良セント言フカ如シ)唯タ一般ノ幸福ノミヲ以テ目的トスルノ點ヨリ考フレハ其利益ヲ受ケテ降參ス可シ若シ之ヲ受ケサレハ國家ノ災

厄ト爲リ或ハ終ニ國家ノ滅亡ニ至ルモ圖リ難シ併ナカラ好テ敵國ニ降伏スルヨリハ天運ニ任シテ我カ國家ノ名譽ヲ維持スル爲メ身命ヲ擲ツ可キモノナリ或ハ一タヒ國家ノ滅亡スルモ後來再興スルノ望アリ彼ノ「アテーン」希臘國人カ「テミスト」有名ナル政事家ナリヲクレス氏ノ時代ニ以上ノ適例ヲ後世ニ遺セリ

時トシテハ國家ハ其國ノ名譽ヲ害セスシテ其國ヲ維持スル「能ハサルカ爲メニ已ム」「得ス滅亡スル」「アリ」「カルターゴ」「國」「又ハ」「エルサレン」「名」ノ滅亡ヲ嘆息スル者アレ其滅亡ハ之ヲ免カサル、「能ハサリシナリ或ハ各國獨立スルノカナク其同族民相合シテ一國ヲ立ツルニ因テ各滅亡スル」「アリ」「虛氣平心公平ナル獨逸人又ハ伊太利人ニシテ獨立スル」「能ハサル小國ノ滅亡ヲ惜ミ且大國

ト成リタル「ヲ喜ハサル者アル乎其場合ニ於テハ從來ノ小國ノ爲メニハ兎モアレ合衆シタル大國ノ爲メニハ國家ノ滅亡ハ一般ノ幸福ト爲ル可シ

以上ノ弊害ハ國家ノ目的ヲ以下ニ掲クル如ク定ムル時ハ全ク消盡ス可シ

國家ノ目的ハ國民ノ性質ヲ養育シ國民ノ生計ヲ改良シ終ニ之ヲシテ成熟ナラシムルニアリ勿論此目的ハ道德及ヒ政略上ニ於テ天賦ノ人倫ニ背馳ス可カラズ

此目的ニハ國家ノ目的トス可キ者ハ一切含蓄スレ其國家ノ目的トセサル者ハ含蓄セス又此目的ハ各國民固有ノ性質及ヒ生計ニ着目シタリ故ニ此目的ハ國家ノ目的ヲ統一ナラシメ且之ヲ達スル方法

ニハ制限ヲ爲サスニ箇人ノ其天賦ノ性質ヲ養育シテ一箇人タルヲ勤ムルカ如ク國家ニ於テモ亦々國民天賦ノ性質ヲ養育シテ一國ト爲ラシトシテ勤ム可シ則チ一方ニ向テハ國民ノ勢力ヲ維持シ又一方ニ向テハ其勢力ヲ養成ス可シ其勢力ヲ維持スルハ既ニ已ニ得タル所ヲ保持スル爲メニシテ之ヲ養成スルハ後來ノ進歩ノ爲メトナル可シ

五 國家ノ目的中其一方ニ偏スルハ其國民ニ一種ノ性質ヲ附與シ國家全体ノ爲メニハ害ト爲ルコアル可シ左ニ國家一種固有ノ性質ヲ掲クヘシ

一 國カヲ外ニ擴張スル性質

國家ハ獨立シ及ヒ其命令ニ從ハシムルニハ其權力ノアルコトヲ要ス

可シ權力ナキハ國家ハ成立ツ者ニアラス併ナカラ其權力ノ多少ニ從テ左ノ如ク國家ヲ區別ス可シ

① 世界ノ大國

世界大國ノ權力ハ其國境ヲ越エテ二大洲又ハ全世界ニ波及シ其政畧ニ關涉シ爲メニ世界ノ安寧秩序萬國公法ヲ握掌ス

② 大國

大國ハ必スシモ世界大國ニ非スト雖モ世界大國ハ必ス大國ナリ世界大國ハ海上權ヲ有ス可シ何トナレハ海上ノ通航ナクシテハ世界ノ政畧ニ關涉スルコト能ハサレハナリ大國ハ止タ陸地ノ權ヲ有スルノミノ者モアリ則普魯西王國ハ獨逸帝國ヲ一統スル以前ハ大國タリト稱スレト世界大國ト稱スルニ非ス又奧地利ハ大國

ナリト雖モ之ヲ世界大國ト言ハス大國ト雖モ其權力ハ其國境内ニ限リ振フ者ニ非ス他國ニモ亦波及セリ故ニ大國ノアル一大洲ノ政略ヲ變セントスルニハ其大國ノ意見ヲ問ハサレハ危害ヲ被ムル可シ

併ナカラ大國タリトモ又ハ世界大國タリトモ他國ヲ壓制センカ爲メニ其權力ヲ振ハントスルハ必ス餘國ノ抗撃ヲ受ク可シ「ナポレヲン」帝第一世ト雖モ歐羅巴全洲ヲ一統スルヲ能ハス其政略ノ過チヨリ其身ヲ滅亡スルカ如シ又魯西亞ト雖モ土魯其ヲ一統スルニ足ル權力ヲ有セス壞地利ノ伊太利ニ於ケル政略モ亦永久維持スルヲ能ハス英國ノ海上全權モ終ニハ他國ノ皇帝ニ因テ破ララル、期アル可シ

① 中國及ヒ局外中立國

此等ノ國ハ外國ノ政略ニ關涉ス可キ權力ヲ有セス其權力ハ專ラ國內ノ政略ノ爲メニ要ス可シ此等ノ國ノ政略ハ謙遜ス可キ性質ナレモ其國民ノ爲メニ利益アルノミナラス又大國ノ政略ヲ制限シテ其弊害ヲ少クスルニ必要ナルモノトス

② 小國

當時大國ヲ作ラントスル時世ニ於テハ之ヲ保持スルヲ甚タ難カル可シ小國ハ強國ニ合併スルカ又ハ大國ノ保護ヲ受クルニ非サレハ獨立スルヲ能ハス(例ヘハ土魯耳ニ屬スル埃及ノ如シ)併ナカラ中古ノ時代ニ於テハ歐洲各國就中獨逸伊太利ニ於テハ小國ヲ立ツルヲ欲シタリ

外國ニ對シテ國家ノ權力ヲ擴張ニスルノ術ト爲ルモノハ交際ト陸海軍ナリ若シ專ハラ兵力ニ着目シテ其國民ヲ強兵タラシメ及ヒ兵器彈藥ヲ豫備スルノ國ヲ軍國ト號ス「ギリシヤ」國ノ「スパルタ」所ノ及ヒ普魯西王國ノ獨逸ヲ一統スルマテハ之ヲ軍國トス可シ又外患ヲ受ケ易キ國及ヒ國境ヲ廣大ニセントスル時代ニ於テハ必ス兵力ヲ強クスルコトニ着目ス可シ併ナカラ十分ニ權力ヲ擴張シタル國ニ於テハ兵力ヲ以テ政略ノ目的ト爲ス可カラス止タ政略ノ器具ト爲ス可シ且兵力ヲ強クス可キコトニ專ハラニシテ眞正ノ國家ノ目的ヲ達スルノ妨害ト爲ス可カラス

二 理財上ノ目的ヲ主トスルノ國アリ 牧畜ヲ主トスル國ヲ牧畜國ト云ヒ 農業ヲ主トスル國ヲ農業國ト云フ 製造ヲ主トスル國ヲ製造國ト云ヒ

造國ト云フ商業ヲ主トスル國ヲ商業國ト云フ

是等ノ業ハ專ハラ一箇人ノ職ニシテ國民ハ專ハラ之ヲ業トス可キモノニ非ス故ニ國民ノ專ハラ之ヲ業トスルキハ國家ノ急務ヲ忘リ其他ノ業ヲ妨害スルニ至ル可シ然ノミナラス國民ノ政略上ノ精神ヲ奮起ス可キ能ハス且自慾卑屈心ヲ生セシム可シ牧畜國ノ國民ハ貧窮ニシテ無學ニ止マリ農業國ノ國民ハ教育ヲ好マス此等ノ國ニ於テハ未開化ノ風俗ヲ存シテ開化ノ風俗ニ染ミ難シ製造國ニ於テハ職人ノ徒黨ヲ爲スノ弊アリ且他國ノ製造品ヲ輸入スルコトヲ拒ム可キ性質ヲ有セリ商業國ニ於テハ利慾ニ走り偏道ニ赴クノ弊アリ

三 教育ヲ主トスル國アリ之ヲ教育國ト云フ「ギリシヤ」國ノ「アテ

「ハ」スバルタ」ニ反シテ「ペリクレス」氏ノ時代ニ大ニ教育ヲ主トシ後世ニ學術技藝ニ長シタルノ後證ヲ遺セリ「プロレンツ」「ウエニ」イ「シヒ利」伊太「アントウエルペン」「白耳義」ニ於テモ專ハラ教育ヲ主トセシ時代アリキ支那國ニ於テハ今日ニ至テモ專ハラ教育ヲ主トセリ併ナカラ支那國ノ教育ハ進歩スルノ教育ニ非スシテ古ヨリ傳來スルノ教育ヲ固守スルノ教育ナリ又今日「チーリヒ」及ヒ「ゲンフ」瑞「士」ニ於テ專ハラ學校ヲ盛大ニスル「ハ」其國ノ名譽ナリ教育ハ甚タ高尚ナル國家ノ目的ナレモ單ニ之レノミヲ主トスルハ其他ノ急務ヲ行フノ國力ヲ減ス可シ故ニ政略上唯タ一方ニ偏スルノ弊害ナキ「ハ」ニ注意ス可シ

四 以上ニ言ヘル目的ヨリハ法律ヲ以テ一般ノ目的ヲ主トスル國

アリ

則チ國民及ヒ一箇人ノ自由ヲ保護スル「ハ」ヲ主トスル國ヲ自主自由國ト云フ例ヘハ北亞米利加合衆國又ヒ瑞士各連邦ノ如シフライエーレヒンスタット

五 同族民ノ共同心ヲ奮起シテ合併セントスルノ國アリ從前ノ佛國今日ノ伊太利國獨逸國ノ如シ之ヲ同族國ト云フオーストリアスロヴァン

六 國家ノ目的ハ直接ニ國民ノ身體ニ關係ヲ有スルナリ然レモ國家ニハ間接ニ一箇人ニ關係ヲ有シ其生活ノ目的ニ關涉スル「ハ」アリ此間接ノ目的ヲ達スルニハ密ニ國家ノ職掌立法行政司法ノ區域ヲ定ムルヲ緊要トス

一箇人ニ於テモ亦國家ニ於ケルカ如ク天賦ノ性質ヲ發達シ各獨立シ且一家内及ヒ同族民若クハ人間ノ目的ニ違ハサル「ハ」ヲ以テ急務

トス可シ此目的ヲ達スルニハ一箇人ノ自由ナカル可カラス又國家ハ無法ニ自由ヲ犯サレタル者ニ對シ其自由ヲ保護ス可キト雖モ其自由ヲ壓止ス可カラス

又間接ノ目的ヲ達スルニハ先ツ國家ハ何物タルヤノ性質ヲ明カニス可シ

一、國家ハ社會ノ秩序ヲ主ル者ナリ故ニ國家ハ止タ有形物ノ爲メニ其器械官省等ヲ有シ未タ言行ニ形ハサル無形物ノ爲メニハ其器械ヲ有セス是故ニ一箇人ノ生計中最モ肝要ナル目的ハ未タ外ニ形ハレス從テ國家ノ關涉スル能ハサレハ盡ク一箇人ノ生計ノ目的ヲ達セシムルヲ能ハス元來一箇人天賦ノ性質ハ全ク國家ニ關涉スルヲナシ則國家ハ痴呆ヲ才智ニ化シ卑怯ナル者ニ勇剛ヲ與フルヲ

能ハス又盲目ヲ明眼ニ爲スヲ能ハス又愛情ハ國家ノ媒ナクシテ起リ又國家ハ學者ノ思考ヲ探知シ傳來ノ無根浮言ノ說ヲ矯正スルヲ能ハス故ニ一箇人ノ生計中特ニ其心思ニ關シテハ己レノ區域ニ止リテ權力ヲ他疆ニ及ホス可カラス

二、國家ハ專ラ國民共同心ニ因テ成立ツ者ナレハ其共同心ニ付テハ一箇人ノ生計上ニ國家ノ權力ヲ及ホスヲ得併カラ一箇人固有ノ事柄ニ及ホスヲ得ス例ヘハ國家ハ所有權ト稱スル有形物ニ付キ一般ニ一箇人ノ權利ヲ保護スルヲ得レ其所有權ヲ施行スル方法ニ付テハ一箇人ノ自由ニ委託ス可シ彼ノ「バガニ、」氏ノ胡弓「リスト」氏ノ彈琴ニ於ケル又「カウルパウ」氏ノ畫具ニ於ケル所有權ハ他人ノ同物件ニ於ケル所有權ヨリハ全ク異ナルモノナリ其所

有權ヲ施行スル方法ハ固ヨリ國家ノ定ムルヲ得可キモノニ非ス何
トナレハ其方法ハ各人自カラ差異アルモノニシテ一般普通ナル者
ニ非サレハナリ又結婚ノ要件及ヒ配偶者ノ權利ニ付キ其大体ヲ定
ムルヲ得何トナレハ一家ノ靜謐及ヒ國民ノ風俗ハ大ニ婚姻上ニ
關係ヲ有スレハナリ併ナカラ如何ナル方法ヲ以テ結婚ス可キ哉及
ヒ一家内ヲ治ム可キ哉ハ國家ノ定ムル所ニアラス「ウイルヘルム
ホンブンボルト」氏ハ結婚ハ全ク人民ノ自由ニ委子法律ヲ以テ制
限セスト言ヘリ是レ甚タ妄謬ナリ之レニ反シ羅馬宗教法ハ一箇人
ノ自由ニ委ヌ可キ事柄ヲ法律ヲ以テ定メントスルノ謬アリ又國家
ハ異教ヲ信スル者ヲ犯罪トシテ罰セント欲スルハ則チ國家自然
ノ權限ヲ越エテ一箇人ノ自由ニ踰入シタルナリ

三、國家ノ權カハ國家ノ權利ノ達ス可キ區域ヨリ踰ユ可カラス何
トナレハ權カヲ以テ強制セントスルニハ必ス法律ニ因テ其權利ヲ
有ス可ケレハナリ併ナカラ其權利ハ左ニ掲クル制限ヲ受ク可シ

①一箇人互ニ和合シテ獨立セシムル^上民法 又ハ人民生計ノ爲メ
ニ缺ク可カラサル制限ヲ定ムルトニ因テ制限ヲ受ク可シ^上刑法

②國民ノ存立及ヒ維持ニ因テ制限ヲ受ク可シ又一箇人ハ國民ヨ
リ其安寧幸福ニ必要ナル制限ヲ受ク可シ(例ヘハ租稅ヲ追徵ス
ル權徵兵ノ義務憲法及ヒ行政法ヨリ生スル權利等)

國家ノ權利ニ付キ疑義ヲ生シタルハ國家自カラ之ヲ判斷ス可
シ元來立法及ヒ司法ノ權ハ其性質ニ於テ已ニ國家ニ歸ス可キモ
ノナリ

四、國家ヨリノ保護ハ法律ニ定ムルモノニ非ス而シテ其保護ハ權カヲ以テ壓制スルニ非ス自カヲ以テ達スルコトヲ得スシテ國家ノ補助ヲ仰ク會社ノ目的ヲ助ケ及ヒ勸獎スルニ止ル者ナリ（國家ヨリノ理財上ノ保護教育上ノ保護）會社ノ目的ヲ保護スルコトハ則國民ノ幸福ヲ圖ル爲メナリ

印刷物ノ部

政界上ノ印刷物ニハ書籍、意見書、調書、雜誌、公告紙、定期新聞、新報アリ此内多クハ一般ニ讀ム者ニ非ス書籍、定期新聞ハ學者世界ニテ之ヲ讀ム者ナリ意見書、調書ハ專ラ官員社會ニテ讀ム者ナリ雜誌ハ中等社會ニテ讀ム者ニシテ人民一般ニ讀ム者ニ非ス止タ公告紙日々新報

ノ如キハ一般人民ノ讀ム者ナリ印刷ニ關スル警察及ヒ其政界ハ古來ヨリ專ラ此公告紙、新報ニ注意着目シタリ印刷物ノ自由モ最モ此二ツ者ニ自由ヲ及ホス者ナリ政府ノ新報ニハ三箇ノ種類アリ

一 公告紙 古ノ佛語ニテモニテアルト云フ者ニシテ字獨
アシムベシ語ニテスターツアンツアイゲルト云フカ如シ

此公告紙ニハ法律、布告、司令長官ノ命令或ハ官吏ノ黜陟或ハ公判或ハ呼出等ヲ掲クルコトノミナレハ輿論ヲ掲クル新報トハ言フ可カラスシテ止タ政府ノ處置ヲ掲載シタルモノナリ若シ其政府ノ處置ノミナラス要路ノ官吏ノ一家ノ説ヲ掲載スレハ則チ始メテ之ヲ通常ノ新聞紙ト云フ可キモノナリ同一ノ新聞紙上ニ兩様相異ナリタル政府ノ處置ト論説トヲ掲ク

ルコハ種々ノ弊害ヲ來タス者ナリ政府ノ意見ハ輿論ト一致シ難キモノナリ其意見ニ對シテハ公平ニ抵抗シテ辨駁ヲ爲シ難ク多クハ權力ヲ以テ輿論ヲ壓シ易キモノナリ假令論說ヲ掲クルト雖モ人民ニ於テハ政府ノ公告又ハ檄文ト認メ大ニ人民ヲシテ其趣意ヲ誤解セシムルモノナリ

自由ニ意見ヲ述ヘ又ハ其意見ニ對シ辯白ヲ爲スニハ新聞紙ニ關係ヲ爲ス者各同等タルヘシ若シ政府ノ公告紙ニテ其威權ヲ假ルルハ同等ハ忽チ妨害セラレ政府ノ意見ハ新聞紙ヲ讀ム者ヲ壓制シ人民ヲシテ抵抗力ヲ有セシムル者ナラン

二 中等以下ノ國ニ於テ曾テ專ラ行ハレシ半官半私ノ新報ハ第一ニ掲クル者ニ比スレハ其弊害最モ甚タシ此新報ハ二個相異ナル

ノ說ヲ有スル者ナレハ社會ニ蔓延シ難ク且社會ニ對シ信用ヲ失フナリ善良ノ編修者ハ此新報ニ加入スルコトヲ欲セス何トナレハ政府ニ對シテハ毎ニ政府ノ希望スル所ノ論說ヲ掲ケ而シテ政府ヨリハ其補助ヲ十分ニセス然ノミナラス又政府ノ意見ニ背ク論說ハ直チニ政府ヨリ取消ヲ命セラレ易ク又人民ニ對シテハ信用ヲ失ヒ其說ヲ取ラサルコトニ至レハナリ故ニ此新聞紙ハ論說ヲ掲クルニハ毎ニ恐懼シテ十分斷然タル說ヲ吐クコト能ハサルニ至ラン

第三 英國ニ始リタル第三ノ新聞紙ノ種類ハ以上第一第二ノ種類ニ比スレハ數等優レリトセリ此新聞紙ニテハ政府ノ處置ヲ掲クル公告紙ト自由ニ論說ヲ掲クル新聞紙ト全ク區別セリ其新聞紙ニハ要路ノ人ニテ其一己ノ說ヲ掲クレル一己私人ノ名義ヲ以テ

掲クルモノニシテ政府ノ威權ヲ假ル者ニ非ス此新聞紙タル社會ニ出ルモ官服ヲ着セス止々通常禮服ヲ着スルヲ以テ以上ニ掲クルカ如キ同等ト自由トヲ妨害スル者ニ非ス又人民ハ好テ此新聞ヲ讀ムノミナラス賢明ナル要路ノ人ノ説ヲ自ラ好テ取ルヲ欲スルナリ要路ノ人カ此新聞紙ヲ以テ己レノ説ヲ吐クヲカ人民ニテ知得タルモ却テ其何人カ記載シタルヲ知ルトキハ大ニ其箇條ニ注意シテ讀ムヲアラン政府及ヒ要路ノ人ハ官報及ヒ半官半私ノ新報ニ於ケルカ如キ輿論ノ抗擊ヲ受クルヲナク又毎ニ新聞紙ニ正誤ヲ命スルニ及ハス何トナレハ政府ハ新聞紙ニ對シテハ毫モ關係ヲ有セサルヲ其他ノ新聞紙ニ對スルト異ナルヲナク又要路ノ人ハ自己ノ論説ヲ以テ社會ノ激動スルトモ其非難ヲ免

カル、ヲ得知ラサル顔ヲシテ正誤ヲ爲サストモヨシ人民モ亦其説ヲ見ルヲ一己私人ノ説ヲ見ルカ如クニシテ必シモ要路ノ人ノ説ト認ムルヲ得ス是ヨリ以下ハ政府ノ新聞紙ニ加ハル問題トハ異ナリ政府カ一般ニ印刷物ヲ監督スルノ問題ナリ國王要路ノ人(卿公使)ハ我國内ノ新聞紙ヲ見ルヘキヲハ論ヲ俟タス併ナカラ是等ノ人ハ閑暇ナケレハ一切ノ新聞紙ヲ讀ムヘシトハ言ヒ難シ是等ノ人ニハ附屬官吏アリテ此新聞紙中ノ重大ナルケ條ノミヲ點印シテ此等ノ人ノ覽ニ供スヘシ併ナカラ附屬官吏ノ點印シテ覽ニ供スルヲハ弊害ナシトセス従前ノ實驗ニ因レハ佞奸ノ吏ハ巧ニ己レノ利益ト爲ルヘキ點ニ注目シ不利ト爲ルヲハ之ヲ除キ之ヲ覽ニ供スルヲアレハ之ヲ閱讀スル者ハ實ニ虛偽ノ景況ヲ知り大ニ國家ニ害ヲ

醸ストモアリタリ是故ニ國王及ヒ要路ノ人ハ自カラ常ニ二三ノ
 新聞紙ヲ讀ミ且時トシテハ其他ノ新聞紙ヲ讀ムコトヲ優レリトセ
 リ畢竟己レノ眼ヲ以テ見ルルハ虚偽ノ狀況ヲ見誤ルコトナシ
 大ナル新聞紙編修者ハ自由ニ政畧ニ關スル營業者ニシテ輿論ノ
 器械ト爲リ且輿論ニ因テ政務ニ其効驗ヲ及ホス者ナリ如是重大
 ナル職務ヲ爲スニハ尋常一様ノ人ニテハ勤ムルコト能ハス編修者
 ハ一般ノ教育ト別段ノ國法學ニ熟達スル者ナリ又編修者ハ日々
 社會ニ現出スルコト及ヒ臨時ノ危害變動ヲ速カニ見知テ將來ノ結
 果ヲ先見シ輿論ヲ殘サス聞込ミ速カニ秘密ナルコトヲ探知スルノ
 精神ヲ有シ速カニ事件ノ判斷ヲ爲シ事實ニ熟慮スルノ暇ナシ公
 衆ハ新聞紙ニテ速カニ或ル事件ノ説ヲ聞知スルコトヲ望メリ故ニ

論說ニ誤リアレト之ヲ恕スレト其判斷ヲ付クルコトヲ怠リタルコ
 ハ之ヲ恕セス此編修者ノ業ハ諸方ニ眼目ヲ注クヘキ職ニシテ常
 ニ精神ヲ穎敏ニシ自己ニ感觸スル所ニ從テ其己レノ思考ヲ掲載
 スヘシ又編修者ニハ文章ヲ作ルコトニ達シ其文章ヲ明白ニシ妝フ
 コナク眞實ニ信シタルコトヲ簡畧ニ記載シ長ク贅文ヲ記シ看客ヲ
 シテ之ヲ讀ムニ倦マシム可カラス且文章ハ巧ナルコトヲ要スレト
 其効能ハ誠ニ一時ノ者ナレハ巧妙ノ文章ト雖モ兩三日ヲ經レハ
 人民ノ頭惱ニ記憶セス恰モ日々潮滿テ其汐痕ヲ滅スルカ如シ
 編修者ハ効ヲ政務ニ及ホス者ナレハ世人ハ多ク其業ヲ爲スコトヲ
 欲ス政畧家ノ政府ノ要路ニ立ツコト能ハサルハ大ナル新聞紙ノ
 編修者ト爲テ効力ヲ其政務ニ及ホスコトヲ得併ナカラ編修者ノ業

ハ立憲政体ノアル自由國ニ限り大ニ面目ヲ得ル業ナリ

大ナル新聞紙ニ尤モ適當ナル場所ハ一切ノ政畧ノ合集スル中央ノ都府ニシテ政府及ヒ國會政黨ノ有ル地ナリトス何トナレハ此地ニ於テハ政務ニ關スル通信ノ最モ速カニ集リ又新聞ノ業ヲ助クル者モ多クアリ且賣捌モ最モ多クアレハナリ併シナカラ從來ノ實驗ニ因レハ都府ノ外ニテモ大ナル鄉邑ニ於テハ其業ヲ弘ムルコトヲ得ルノミナラス却テ都府ニ比スレハ獨立シ易キ所アレハナリ

漸ニ開化ニ進ムニ從ヒ文章ノ巧ナルコトヲ要シ其編修者カ政畧家ナルヤト否トヲ問ハス又其說ノ正否ヲ論セス單ニ公衆カ其新聞紙ヲ多ク求メ讀テ公衆ヲ歡コハサンコトヲ欲スレハ是レハ全ク新

聞紙ノ業ノ鄙劣ニ爲リタルコトノ證ナリ

政黨ハ其黨派ノ說ヲ主張スルニハ新聞紙ヲ以テ最モ欠ク可カラサル緊要ノモノトス併シナカラ公衆ハ其黨派ノ說ヲ信セスシテ其判斷ノ公平ナルコトニ付且其說ノ實否ニ付キ疑惑ヲ生セン故ニ黨派ノ說ニ僻セスシテ輿論ノ赴ク所ニ從フ說ヲ記スル新聞紙ハ公衆ニ弘マリ易シ輿論ニ從フ新聞紙ノ說ノ過激ナラサル所ハ輿論アリテ其足ラサル所ヲ補ヒ而シテ其新聞紙ハ明晰ナル鏡ニ輿論ノ面ヲ照ラスカ如シ

言論自由ノコト(印刷自由)
プレス・アンド・パブリッシング・ライツ

宗教ノ自由ニ類スルモノハ言語ノ自由ナリ人間ノ思考ハ政府ノ威力

及ヒ法律ニ服従スルモノニ非ス人ノ思考ノ自由ハ天然(ゴット)ヨリ受ケ無形ナルニ因テ外面ヨリノ壓制ヲ被ルコナシ故ニ思考ヲ支配シ又ハ其方向ヲ定ムルハ人定ノ法律ヲ以テ之ヲ爲スコヲ得ス併ナカラ言語文書又ハ圖畫ニ因テ其思考ヲ外ニ形ハシ五官ヲ以テ察視スルヲ得ルニ至レハ法律ヲ以テ之レニ關涉スルコトヲ得一タヒ外ニ形ハル、并ハ法律ノ保護ヲ要シ且人間ト關係ヲ有シ人間ノ上ニ働キヲ及ホセハ一般法律ノ制限ニ從ハサル可カラス

言論ノ自由ハ天性ノ權利ニシテ第一國家ニ於テ之ヲ認め保護スヘシ何トナレハ言論ノ自由ハ實ニ「ゴット」ヨリ人間ニ與ヘタル思考ノ自由ヨリ出タルモノナレハナリ之ヲ振言スレハ人間ハ天性ニ戻ル可カラサル義務アレハ其思考スル所ヲ吐露スルノ權利ヲ有スレハナリ古

ヨリ言論ノ自由ハ身体不自由中ノ最モ貴重ナル者ト認めタリ

言語又ハ文書圖畫ヲ以テ思考ヲ外ニ形ハスモ之レ各人ノ思考及ヒ感覺ヲ吐露スル者ナレハ此間ニ於テ各區別アルコナシ併ナカラ印刷ノ發明アリテヨリ文書數千百部ヲ製シ之ヲ四方ニ發行スルニ至リ且千五百年ノ宗旨沿革ニ因テ人民ヲ煽動シ及ヒ黨派ノ出版物ヲ以テ社會ヲ動搖スルニ至テ印刷物検査局ヲ設ケ一切ノ印刷物ヲ監査シ政府ニ於テ採用スル所ノ宗旨ニ抗擊シ又ハ政務ノ方向ニ反對スル印刷物ヲ差止ムルニ至レリ是ヨリ先キニ羅馬法王「アレキサンドル」第六世カ始メテ検査局ヲ設ケテ一切ノ印刷物ノ検査ヲ始メタリ千五百年代ノ始メニ於テ漸々印刷物検査局ヲ歐洲各國ニ設ケ獨逸國ニ於テハ帝國ノ法律ヲ以テ之ヲ設ケ瑞士共和國ニ於テハ「カソレツク」宗ト「プロテ

スタント」宗トヲ論セス盡ク此局ヲ設ケリ中古ノ時代ハ如此印刷物ニ壓制ヲ受ケリ印刷ノ自由ハ英國ニ始マリタリ「ヲラニエン」家「ツイリヤム」第一世ノ時ニ於テ千六百九十四年代下院ハ印刷物検査局ノ權限ヲ認メス是ヨリ以後ハ全ク此局ヲ廢セリ普國ニ於テハ「フリードリヒ、デルグロ―セ」王カ印刷物ヲ自由ニセン「ヲ試ミタレ」其意ヲ遂クル「ヲ得」シテ此王ノ死後ハ復タ印刷物ヲ嚴ニ検査スル「ヲニ復」セリ北亞米利加合衆國ニ於テハ千七百九十一年ニ合衆國ノ憲法ヲ以テ印刷物ノ検査ヲ禁シタリ佛國革命ノ時ニ當テ印刷自由ヲ人間ノ天賦ノ權利トシテ公告シタリ併ナカタ人心ノ未タ治安セサル間ハ實際印刷ヲ自由ニ爲ス「ヲ能」ハス再ヒ嚴令ヲ發シテ印刷物濫用ヲ防キ然ノミナラス臨時政事ニ關スル新聞ヲ検査シタリ千八百十四年ニ再ヒ王國ト爲リ

タル後復タ印刷ヲ自由ニシ千八百十九年五月十七日ノ法律ヲ以テ始メテ印刷自由ヲ認メタリ近年ニ至テハ印刷自由ハ歐羅巴亞米利加開化國普通ノ法律ト爲レリ獨リ魯國ニ於テハ未タ印刷物検査ヲ廢セス恐クハ歲月ヲ經サレハ之ヲ廢スル「ヲ能」ハサル可シ

古來ノ實見ニ因ルニ卑屈猥褻ナル印刷物ハ間々風俗ヲ害シ及ヒ他ノ種々ノ弊害ヲ生セシメタリ況ヤ未タ開明セス自由ヲ尊ハサル國民ニ於テハ弊害最モ甚タシ或ハ云フ印刷自由ニ因テ生シタル弊害ハ又印刷自由ニ因テ之ヲ回復スル「ヲ得」ヘシト言フ者アレ「ヒ其說」ハ甚タ過テリ何トナレハ風俗ノ亂レタル人民ニ於テハ印刷自由ヲ以テ其風俗ヲ改ムル「ヲ難」ク且其僧侶ノ壓制ヲ受クル國民ニ於テハ宗教ニ觸ル、ノ恐アルト無學無識ノタメニ自由ニ言語ヲ發スル「ヲ欲」セス且好テ

自由ナル印刷物ヲ讀ムコトヲ欲セサレハナリ又一方ヨリ觀レハ印刷物
 検査局アルカ爲メニ政府ノ顛覆ヲ防キ及ヒ國家ノ安寧幸福ヲ助クル
 所アリトスルモ其實ナシトスルコトヲ得ス畢竟大沿革ノ起ル前ニ印刷
 物ヲ検査シ印刷自由ハ止タ外見ノミニ止リ實際威權ノアル黨派ノ爲
 メニ存スルノミ故ニ印刷自由ハ宗教ヲ尊仰シ及ヒ善良ナル法律ノア
 リシ自由國民ニ於テハ國家ノ爲メニ著シキ效能ヲ有スル者ナリ恰モ
 一ノ光耀アル寶石ノ如キモノナリ則チ開明國ニ於テハ勉メテ印刷自
 由ヲ維持シ之レニ因テ輿論ノ方向ヲ知ルコトヲ得可シ

併ナカラ印刷自由ニハ又々制限ナカラサル可カラスト雖モ検査局ヲ
 設ケテ検査スルコトハ其當ヲ得タリトセス何トナレハ検査局ヲ設クル
 由ハ如何ホト寛大ニ検査ヲ爲スモ能ク社會ノ情況ニ通シ且眞理ヲ辨

別スル丁年者ニ後見者ヲ付スルカ如キモノナレハ印刷自由ノ原則ニ
 背クモノナレハナリ

印刷物制限ニ一切ノ印刷發行ニ通スルモノアリ又政事ニ關スル印刷
 物特ニ政事ニ關スル新聞紙雜誌及ヒ公告紙ニ限り制限スヘキモノア
 リ政事ニ關スル印刷物ニ限り直チニ國家ノ安寧幸福ニ關係シ其他ノ
 印刷物ニ在テハ間接ニ關係ヲ有スルモノナリ又政事ニ關スル印刷物
 ハ學問上ノ印刷物ノ如ク書籍眞理ヲ考窮スルノ性質及ヒ目的ヲ有セ
 ス及ヒ文學上ノ印刷物ノ如ク讀者ヲシテ歡樂セシメ風俗ヲ善良ナラ
 ラシムルモノニ非ス專ハラ政務ニ關係シテ一箇ノ黨派ト爲ルモノナ
 リ例ヘハ今日ノ社會ニ於テハ政事ニ關スル印刷物ハ兵隊ノ如シ則チ
 無形ノ兵器ヲ用テ一定ノ目的ヲ達センカ爲メニ日々小攻撃ヲ爲シ又

時アリテハ大ナル決戦ヲ爲スコアリ然レモ此戰場ハ血ノ出テサル戦争ナリ故ニ政府ハ此印刷物ノ性質ヲ怠リテ國家ノ滅亡ヲ惹起ス可カラス

一切ノ印刷物ハ公法ノ制限ヲ受ク可ク各人ノ發言ノ自由ハ社會ノ順序ニ觸ル、可カラス故ニ印刷物ハ其事柄及ヒ其形体ヲ以テ國家又ハ各人ノ權利ヲ害ス可カラス茲ヲ以テ立法者ハ印刷物ヲ以テ國家ノ名譽及ヒ其安寧又ハ風俗ヲ害スルカ又ハ其各人ノ名譽及ヒ家内ノ安寧ヲ破ルカ如キ種々ノ場合ヲ區別シ印刷物上所犯ノ罰ヲ定メサル可カラス

政事ニ關スル印刷物ハ他ノ印刷物ヨリハ詳細ニ注目スヘシ政府ハ常ニ印刷物ノ良否ニ拘ハラス其方向效驗ニ著目シ或ハ之ヲ國治ノ爲メ

ニ用フルコアリ或ハ之ヲ壓制スルコアル可シ如此キ政事ニ關スル印刷物ヲ監督シテ其方向ヲ定メシムル検査局ヲ設クルモハ此検査局ハ近來廢シタル検査局ヨリハ却テ羅馬國ニアリシ検査局ノ性質ヲ有スルモノナラン歐羅巴ノ検査局ヨリ善ナリ又學識アリ政事ニ熟達スル人ハ輿論ヲ政府ニ忠告シ且駁スヘキ論ハ之ヲ駁シ説明ヲ要スルモノハ説明ヲ爲スヲ以テ已レノ急務ト爲スモハ自己ノ名譽ト爲ルノミナラス政府ノ爲メニ大ニ利益ト爲ル可シ今日ハ未タ此ノ如キ検査局ヲ設クル所ナシ且之ヲ設ケントシタレモ其監督ノ嚴酷ナルヲ以テ其目的ヲ達スルコト能ハザリシナリ止タ佛國ニ於テ検査局ヲ設ケ嚴ニ印刷物ヲ監督スルカ爲メ印刷自由ハ全ク地ヲ拂ヘリ

其他政事ニ關スル印刷物ノ制限ハ左ノ如シ

①新聞發起者ヨリ保證金ヲ出サシムルハ其業ヲ永續セシムルヲ欲スルヲ以テ可ナリト雖モ其効能ハ殆ントナキカ如シ

②新聞ヲ發行セントスルハ許可ヲ要スヘシトセハ政府ニ反對スル印刷物ヲ強メテ壓制シ爲メニ印刷自由ヲ失フノ大弊害ヲ來ス可シ故ニ隨意ニ許可ヲ拒ムコトナク一定ノ要件ニ適ヒタルモノハ如何ナル黨派ニ屬スルモノト雖モ許可スルニ非サレハ印刷自由ト許可トハ並行スルコト能ハサレハナリ或ハ編輯人ハ必ス法律學又ハ政治學ノ試験ヲ經テ其學力ヲ證シタルモノニ非サレハ編輯人タルコト能ハスト云フ者アリ然レモ黨派ノ權力ヲ以テ其試験ヲ動かスコトヲ得レハ其試験ノ効ナシ假リニ之ヲ動かスコト能ハサルモノト定ムレハ迂遠ナル學者ヲ以テ編輯人トスルノ弊ヲ生セン畢竟編輯人ニ求ムヘ

キ性質ハ陪審又ハ議員ノ性質ト同一ナルモノトセハ甚中庸ヲ得タルモノナランカ抑編輯ノ業ハ自由ナル業ナレモ純粹ノ政務ニ關スル業ニシテ其國治ニ關スル輕重及ヒ効能ハ却テ官吏ノ事ニ比スレハ重大ナリ故ニ何人ニテモ其業ヲ行フコトヲ得ルモノニ非ス又編輯人タル可キ性質ニ付テモ政務ニ關スル官吏ニ求ムルヨリハ僅少ナル性質ヲ求ム可カラス

◎近來佛國ニ始マリ諸國ニ於テモ呵責ノ後新聞紙停止ノ處分法定メリ此法ニ因テ政府ハ何時タリトモ國安ヲ害スヘキ印刷物ヲ抑止スルコトヲ得レモ言論ノ自由ヲ妨害スルノ弊アリ若シ新聞紙ノ生死カ政府ノ意ニ從テ定マルハ其事柄モ亦タ政府ノ意ニ協ハサル可カラス然ルハ印刷自由ハ止タ名義ノミニシテ之ヲ要スルニ國

家ノ安寧ト黨派及ヒ各人ノ發論自由トヲ併立セシメ其一方ヲ滅亡セシメスシテ成リ行クヲ務ムルヲ緊要ナリトス

①警察官ニテ印刷物特ニ公告紙新聞紙ヲ取押フルヲ得ヘカラストセハ敵ニ對シテ兵器ヲ取上クルカ如シ然レモ警察官ニテ理由ナク印刷物ヲ取押フルヲ得ルトセハ止タ疑ヒノミヲ以テ印刷物ヲ壓制スルノ剛刃ヲ與ヘタルカ如シ故ニ豫メ法律ヲ以テ印刷物ヲ取押フル場合ヲ定メ且其法律ニ背テ印刷物ヲ取押ヘタル官吏ヨリ損害賠償ヲ出サシムルヲ必要ナリトス又取押ヲ繼續セシムルニハ必ス裁判官ノ認可ヲ得サルヘカラス

②印紙稅ヲ出サシムルコトハ自由ナル英國ニモ之レアリ此法ハ專ハラ政府出納局ノ收入ヲ増サンカ爲メニ定メタルモノナリ之レニ因

テ唯タ下等人民ノ爲メニ發行スル新聞紙ノ繁昌ヲ妨ケ遂ニハ全ク滅亡ニ至ラシムルコトアリ又國家ノ理財上ヨリ觀ルモ之ヲ取立ツルノ理由ナシ何トナレハ利益ヲ得ルコトヲ第二ノ目的トスル營業ニ他ノ營業ヲ比スレハ非常ニ重稅ヲ科シ且發論自由ニ稅ヲ科シテ其自由ノ面目ヲ汚カセハナリ

③實際甚タ肝要ニシテ印刷自由ヲ害セサル制限ハ新聞紙ニ因テ名譽ヲ害セラレタルモノ又ハ官署ハ同一ノ新聞紙ヲ以テ同看客ニ對シ其名譽ヲ回復スルノ權ヲ有スル是レナリ新聞紙ヲ發行スル者ハ已レノ爲メニ專ハラ印刷自由ヲ請求スルヲ以テ又タ他人ノ爲メニ其自由ヲ顧ミル可シ若シ新聞紙ヲ以テ他人ノ名譽ヲ害シ又ハ害セシメタルハ之レニ因テ名譽ノ回復ヲ要セシメタルナリ因テ發行

人ハ本人及ヒ看客ニ對シ最モ功驗ノアル場所ニ於テ其名譽ヲ回復ス可キ義務アルナリ他ノ新聞紙ヲ以テ發明スルモ其功ヲ奏スルコト少ナク何トナレハ名譽ヲ害セラレタルキト同一ノ看客ニ對シ辨明ヲ爲サ、ルト他ノ編輯人ハ其辨明ヲ記載スルコトヲ欲セサルノミナラス双方相互ノ爭論ニ新聞紙ヲ供スヘキ義務ヲ有セサルトニ因リ間、他ノ新聞紙ヲ以テ辨明シ難ケレハナリ

㉔無記名ニテ他人ノ名譽ヲ害スルコトニ對スル嚴酷ナル處分法ヲ設ケタル所往々之レアレモ其效能ハ甚々鮮シトス

㉕國家危急ノ際即チ戰爭アルキ又ハ内亂ノキハ政事ニ關スル印刷物ニ對シ非常ナル制限法ヲ設クルヲ必要ナリトス且其法ハ非常ノキニ當リ之ヲ行フモノナレハ之ヲ設クルノ理由アリ若シ豫シメ憲

法又ハ法律ヲ以テ非常ノ制限法ヲ定メサレハ二箇ノ弊害アリ一ハ國家ニ於テ大ナル害ヲ受ケ且其害ヲ増シ一ハ法律ニ定メサルカ爲メ實際却テ上下ヨリ印刷自由ヲ消滅スルニアリ第二ノ弊害ハ通常之レアルモノナリ則印刷ノ自由ハ之ヲ紙面ニ記載スルモ威權アル黨派ニ反對スル說ヲ吐露スルコトハ甚々難シ故ニ已ムヲ得サル制限ハ豫シメ之ヲ法律ニ掲グルヲ善トス

①政事ニ關スル公告紙ヲ貼付スルニハ警察官ノ監督ヲ受ケテ之ヲ爲スヲ至當ナリトス何トナレハ公告紙ヲ公衆ニ貼付スルニ至テハ自由ニ言語ヲ發露スルノ境域ヲ越エ政府ノ公達ノ域ニ入レハナリ

㉖近來設クル所ノ印刷物ニ關スル法律ニハ新聞紙ニ於テ責任ヲ負フヘキ編輯人出版人印刷人ヲ記載センコトヲ要シ且印刷物ヲ以テ犯

シタル犯罪ニ付キ此等ノ人ノ關係ヲ詳細ニ定メリ

①印刷物ニ因テ犯シタル所犯ヲ裁判スルニハ公衆ノ信用ヲ得ン爲メ陪審又ハ陪審官ヲ立會センコトヲ欲ス併ナカラ其裁判ニハ止タ印刷物ヲ能ク了解スル者ニ非サレハ其益ナシ故ニ陪審ヲ設クルニハ文學ニ通達スル者ヲ選フヘシ農民ハ盜賊放火ノ罪ヲ判斷スルコトヲ得ル材量アレハ新聞紙ニ關スル所犯ヲ判斷スルノ知識ナシ則チ農民ハ麁暴ナル言語ニ慣レテ甚シク名譽ヲ害スルコトヲ受クルモ之ヲ侮辱トセサルコトアリ又宗旨ニ關スル言論ニ於テハ固ト不正ノ言語ニアラサレハ或ハ僧侶ノ指教ニ因テ罰スヘキ者ト爲スコトアリ畢竟陪審ニ求ムルニ一年中學校ノ試験ヲ經タルモノハ止間兵役ニ服スル者ノ學力ヲ以テスレハ國家ノ利害ノ爲メ及ヒ印刷自由ノ爲メ公

平ナル裁判ヲ爲サシムルノ保證ト爲ルヘシ

國境稅連邦ノ稅法千八百六十九年七月一日發

天帝ノ輔翼ヲ以テ北獨逸連邦ノ王タル朕「ウイールヘルム」ハ國境稅連邦ノ上院下院ノ允許ニ因リ北獨逸連邦ノ名ヲ以テ左ノ條々ヲ確定ス

第一 國境稅連邦ノ外國ニ對スル貿易

第一條 (輸入輸出經過)凡テ天然物及ヒ技藝工業ニ因テ製シタル物ハ連邦全國内ニ輸入輸出經過ヲ爲スコトヲ得

第二條 非常ノ情況アルモ又ハ危急ナル傳染病(千八百六十七年七月八日ノ條約第四條第二項ヨリ第五項マテ)又ハ其他ノ衛生保護警察上ヨリシテ連邦全國又ハ一部ノ爲メ一時物件ヲ定メテ前條ノ取除ヲ爲スコトヲ得

第三條 (輸入稅)外國ヨリ輸入スル物件ハ國境稅表ニ稅ヲ定メサル

國境稅連邦稅法

物ハ其稅ヲ課セス

五百四十六

第四條 稅表ニ稅ヲ定メタル場合ニ於テハ此稅法(第百十一條ヨリ第百十八條マテ)ニ定メタル取除ノ外ハ其物件ノ輸入ハ連邦ノ如何ナル貿易ニ關スルヲ問ハス都テ其稅ヲ拂フ可キ義務アリ

第五條(輸出稅)輸出稅ハ之ヲ課セサルヲ定例トス但其例外ハ國境稅表ニ定ムルヲ得千八百七十年ノ舊稅表ニテハ輸出稅ヲ取リタルニユヘ此ノ如ク茲ニ掲ケタルモノナリ然レモ新法ニハナシ

第六條 (經過稅ヲ課セサル)物件ノ經過ニ付テハ稅ヲ課セス

第二 國境稅連邦内ノ貿易

第七條 (内國貿易ノ自由)連邦内ニ於テ内國ニ生シタル物件並ニ稅ヲ免シタルカ又ハ稅ヲ課シタル外國ノ物件ヲ以テ爲ス貿易ハ自由タル可シ但此稅法第十五及ヒ第十六ノ規則及ヒ連邦相互ニ之ニ反

シタル契約ヲ結ヒタルハ格別ナリトス

第八條 内國稅ハ政府又ハ國結又ハ一己一人ヨリ之ヲ課スルヲ禁ス(内國中ノ國ヨリ國ヘ)輸入スルホヲ云フ

但港口掘割水閘橋梁船舶道路重荷積卸器械車秤量波止場其他貿易ヲ容易ナラシムル爲メ設ケタル建築物ヲ使用スル爲メニ課スル費用ハ前項ノ例ニ在ラス

第三 國境稅ヲ課スル

第九條 (國境稅ヲ課スル割合ノ標準)國境稅ハ衡尺數價ニ從テ課ス可シ

國境稅ハ左ニ掲クル時ニ行ハル、稅表及ヒ規則ニ從テ之ヲ課ス可シ

國境稅連邦稅法

五百四十七

一 輸入物ノ税ヲ拂フカ爲メ或ハ添狀第二(第三十三條)ヲ求ムル爲メ又ハ税金ノ保證トシテ私有倉庫(第百八條)ニ積込ム可キヲ登記スル爲メ管轄收税官署ニ其物件ヲ差出シタル時(則其物件ヲ差出シタル日ニ行ハル、税表ニ從テ税ヲ取立ル)

二 輸出ノ其税ヲ拂フ可キ物件ヲ其税ヲ課スル權アル管轄官署ニ檢査ヲ求ムル爲メ差出シタル時(第三十四條)

第十條 (手数料ノ)第八條第二十七條第百八條ニ掲ケタル場合又ハ關係者カ此税法ニ定メタル義務ヲ怠ルニ付キ官吏ヲ煩ハシタルカ爲メ第二十七條及ヒ其他ノ場合ノ償却金又ハ收税ノ利益ヲ圖ルカ爲メ此税法ヨリ格外ヲ定メタル日ニ限り税ノ外ニ他ノ費用及ヒ手数料ヲ取立ルヲ得

市場手数料ニ付テハ市場規則ニ之ヲ定メリ

第十一條 (國境税法ヲ變スル)國境税法ヲ變シタル日ハ少クトモ效力ヲ有ス可キ日ヨリ八週前ニ之ヲ公告ス可シ

第十二條 (官署ニテ作りタル物品表)國境税表ヲ使用スルカ爲メ物品表ヲ作ル可シ其物品表ニハ商業上ニ號スル物品ノ各ヲ「イロハ」ノ順序ニ掲載シ表ノ番號ヲ附記ス可シ税表ノ誤用ニ付キ故障申立ハ行政ノ手續ヲ以テ之ヲ裁定ス可シ

第十三條 (國境税ヲ拂フ可キ義務)國境税ヲ拂フ可キ義務ハ政府ニ對シテハ税ヲ拂フ可キ其物品ヲ現有スル者之ヲ負擔ス可シ又其物件ヲ公立物揚場ヨリ受取ル者ハ之ヲ現所有者ト看做ス可シ

第十四條 (商品ノ責任)税ヲ拂フ可キ物件ハ他人ノ權利アルニ拘ハ

ラス其税ヲ拂フ可キ責ヲ負フ可シ且其税ヲ拂ハサル間ハ之ヲ收税
官署ニ留置キ又ハ之ヲ取押フルヲ得若シ税官ヨリシテ其物品ノ
現有者ニ對シ其物件ヲ處分スルヲ禁シタルハ取押ト同一ノ效
ヲ有ス税ヲ拂フ可キ責ヲ負フ物件ハ如何ナル場合ニ於テモ假令家
資分散ノ際裁判所債主又ハ財産監理人タリトモ其税ヲ拂フ前ニハ
其物件ヲ處分スルヲ得ス

第十五條 (税ノ期滿得免) 國境税ヲ取立ルノ權並ニ過分ニ拂ヒタ
ル税又ハ拂フニ及ハサルニ拂ヒタル税ノ償却ヲ求ルノ權ハ一年ニ
シテ期滿得免ト爲ル可シ其期限ハ其物件ヲ税官ヨリ引渡シタル日
又ハ私有ノ倉庫ニ入レタル物件ノ税額ヲ確定シタル日又ハ添狀第
二ヲ交付シタル日ヨリ起算スヘシ政府ヨリ官吏ニ對シ償却ヲ求ム

ルヲ及ヒ適カレタル税ヲ拂フニ付テハ此期滿得免ノ規則ヲ適用
ス可カラズ(官吏ノ取立ツ可キ税ヲ取立ス又ハ計算ヲ誤リ不足ア
ルハ政府ヨリ其官吏ヲシテ償却セシム)

第四 國境税ヲ監督シ及ヒ課スル方法

クレソベナル

第十六條 (外國ト連邦トノ經界及ヒ其國境ノ區畫又ハ國內ノ經界)
外國ト界スル連邦ノ經界ヲ以テ國境税ノ經界トス然レモ連邦ノ模
樣ニ因テハ其一部ヲ國境税ノ經界ヨリ取除クヲ得内國ト此取除
ケラレタル部分ノ關係ハ其土地ニ應スル特別ノ規則ヲ以テ之ヲ定
ム可シ

連邦ノ海ニ界スル所ニテハ水面ト陸地トノ界ヲ以テ經界トス可シ
又干潮ニ因テ高低アル他ノ水ニ界スル連邦ニ於ケルモ亦同シ(水

面ト陸地トヲ以テ經界トスルコナリ)

國境稅ノ經界ニ接近スル土地(其廣ハ地方毎ニ之ヲ定ム)ヲ以テ國境稅ノ經界區ト爲ス其區畫ハ別ニ設ケタル國內ノ經界ニ因テ他ノ土地ト區分ス可シ

第十七條 (稅路及ヒ揚場)稅路(稅ヲ課スル物件ノ經過スル道ト云

フ意ナリ)トハ左ノ如シ

(イ)凡テ外國ノ界ヲ經過スルカ又ハ其界ヨリ始マル貿易ノ爲メナル鐵路

(ロ)海港及ヒ之ニ屬スル灣口但鎖港セサル所

(ハ)外國ヨリ國境區ニ跨カリ又ハ國境區ヲ經過スル公道及ヒ川河ノ外國ト貿易ニ用立チ且明カニ稅路ト爲シタルモノ

國境稅ノ界カ航行スルコヲ得ル水ニテ爲シタル所ハ至當ノ揚場ヲ定ム可シ

第十八條 (稅關)輸出入稅ヲ監督評定賦課スル爲メニ稅關ヲ設ク可シ稅關カ國境ニ近キ所ニ設ケナキハ國境ニ別段ノ屆出所ヲ設ク可シ第三十八條

第十九條 (國境守護)物件ノ輸出入ヲ監督スル爲メ國境及國境區ニ於テハ官服ヲ着シ劍ヲ佩ヒタル監督官吏第三十條ヲ設ク可シ其官吏ハ別段ノ規則ニ從テ其劍ヲ使用スルノ權アリ

第二十條 (國境稅監督ノ爲メ他ノ官吏ノ補助)官吏及ヒ團結ノ官吏殊ニ警察官及ヒ山林官吏ハ國境監督官吏ヲ補助スルノ義務アリ故ニ專ハラ本務ヲ行フ際ニ知得タル稅法犯則ヲ差止メ審問ノ爲メ直

チニ之ヲ報知ス可シ

第五 輸出入及ヒ經過ニ關スル通則

第二十一條

(國境ヲ越ユルル守ル可キ道路及ヒ時刻)何人ニテモ稅

ヲ拂フ可キ物件又ハ無稅ナレト詰メ方ニ因テ直チニ何物タルヲ

知ルヲ能ハサル物件ヲ運送スル者ハ海陸ノ國境ヲ越ユルニハ通常

晝間ニ稅路第十條ヲ通行ス可シ又官許アル揚場ニ荷揚ヲ爲ス可シト

雖モ已ムヲ得サル損害又ハ天災アル場合ハ格別ナリトス又輸出

稅ヲ拂フ可キ物件並ニ輸出ヲ証ス可キ物件ヲ輸出スルニハ通常晝

間稅路ヲ通行ス可シ併ナカラ輸出稅ヲ拂フニ及ハサル物件ハ詰メ

タル儘ナリトモ必シモ晝間ニ通行セシムルニ及ハス

晝間トハ左ノ如シ

一月十二月ニハ午前七時ヨリ午後六時マテ

二月十月十一月ニハ午前六時ヨリ午後六時マテ

三月四月八月九月ニハ午前五時ヨリ午後八時マテ

五月六月七月ニハ午前四時ヨリ午後十時マテ

晝間ニ稅路ヲ通行スルニ及ハサル者ハ左ノ如シ

(イ)海ノ新鮮ナル產物ヲ輸入スル漁獵船

(ロ)難船ニ遭ヒタル荷物ヲ救助シタルル

(ハ)特別ニ稅關本局又ハ支局ヨリ運送スル前ニ許可シタルル但其

許可狀ニハ物件ノ運送者及ヒ運送ノ路及ヒ時刻ヲ記載ス可シ

其他以上ニ記載シタル時刻(午前何時ヨリ午後何時マテ云々)ノ外

ニ國境ヲ通行シ得ルモノハ左ノ如シ

- (ニ) 公ケノ通行ノ爲ナル鐵道ヲ以テ運送ヲ爲スル
- (ホ) 海上ヨリ來ルカ又ハ干潮ニ關スル輸出入
- (ヘ) 通常ノ郵便ヲ以テ運送スル物件並ニ旅人ノ自由ニ供スル物件但商品ヲ除ク

國境ニ於テ物件ヲ檢査スル時刻ニ付テハ第三百三十三條ノ規則ニ從
フ可シ

第二十二條

(物件報道書大略及ヒ詳細)輸入ノキハ積荷ノ何タルコ
テハ報道ス可シ其報道ハ大略ニ爲スト詳細ニ爲スト二ノ區別アリ

鐵道又ハ海上ヨリ輸入スルキハ大略ノ報道ヲ爲シ左ノ箇條ヲ掲ク
可シ

- 一 運送ヲ爲ス車ノ數船ナレハ船名船號

二 荷物受取人ノ氏名住所

三 積荷ノ數詰方記號番號並ニ物品ノ種類ノ總稱

四 鐵道ニテ輸入スルキハ以上ノ外ニ物品ノ總目方其報道書ハ以

上ニ記シタル事柄及ヒ報道スル者ノ手署ノ正シキコトヲ證ス可シ

詳細ノ報道ハ通常輸入シタル物品ヲ一層精密ニ檢査スル爲メ並

ニ上ニ掲ケタル鐵道道路ヨリハ他ノ道路ヨリシテ輸入スルキニ
必要ナルモノニシテ以上ノ事柄ノ外ニ左ノ條々ヲ書加フ可シ

一 物品ノ數及ヒ其種類

二 詰メタル物品ナレハ各積荷毎ニ稅表ニ掲ケタル品名度量衡ニ

從テ之ヲ掲載ス可シ並ニ如何ナル檢査法ヲ欲スルヤヲ掲載ス可
シ

三 税額ノ異ナル物品ヲ同一ノ箱ニ詰メタルハ各種ノ物品ノ數ヲ純目方ヲ以テ記載ス可シ

其報道書ハ獨逸語ヲ以テ作り明カニ記載ス可シ

又改正塗抹ヲ爲スコヲ得ス此等ノ要件ニ違背スル報道書ハ却下スルコヲ得

報道ヲ爲ス可キ義務ノ多少ハ第六ヨリ第八マテニ詳細ニ定メリ

第二十三條 報道ハ荷物運送人ヨリ之ヲ爲ス可シ又運送人ノ代リニ

荷物受取人ヨリ物品ノ種類及ヒ員數並ニ受ク可キ検査法ヲ記シテ

詳細ノ報道ヲ爲スコヲ得第二十二條 荷物運送人及ヒ受取人ハ國境税關

又ハ税關ニ差出シタル第三十條 物件ト共ニ差出シタル報道ヲ未タ詳

細ノ検査ヲ始メサル間ハ之ヲ補ヒ又ハ改正スルコヲ得

又大略ノ報道第六十三條ニ掲ケタル物件ノ種類及ヒ目方ヲ補ヒ又ハ改正スルコヲ得

送り狀第一三條ヲ添ヘタル検査済ノ物品ノ報道ヲ差向ケ地方ニ

於テ改正スルコハ唯々第四十六條ニ掲ケタル制限ヲ以テ之ヲ爲ス

コヲ得ルノミ

第二十四條 報道書ニハ積荷ノ全數ヲ掲ク可シ故ニ税ヲ拂フ可キ物

品ト拂フニ及ハサル物品ト混同シタルハ拂フニ及ハサル物品モ

亦タ記載ス可シ

國境ニテ税ヲ取立ル物品ノ報道ハ一通ニシテ足レリ若シ送狀ヲ以

テ國境内ニ送達ス可キハ其運送先キノ異ナル物品毎ニ各別ノ送狀

ヲ添フ可シ此場合ニハ報道書ニ通ヲ差出サシムルコヲ得

物品ノ輸入税ノ三「ターレル」未滿ナルハ止タ言語ニテ報道シテ足レリ

報道書ヲ一通ニ作ル代リニ數通ニ分チタルハ其報道者ヨリシテ積荷ノ全部ヲ正ク報道セシ「」ノ證書ヲ別ニ差出ス可シ

旅人ノ報道ニ付テハ第九十二條ニ從フ可シ

第二十五條 報道書ハ荷物運送人又ハ受取人之ヲ作り又ハ其代人ヲシテ作ラシムル「」ヲ得

運送人ノ手書スル「」能ハスシテ且世話人(國境税計算人)ノ其場ニ居ラサルハ運送人ノ依頼ニ依リ税關ニ於テ其者ヨリ差出シタル紙ニ其者ノ述ヘタル儘ヲ記載ス可シ又運送人ハ積荷ノ税カ「」ターレル「」ヲ越エサルハモ税關ニ依頼スル「」ヲ得

税關ニ於テ作りタル報道書ニハ報道者ニテ手署ヲ爲スカ又ハ記號ヲ爲ス可シ記號ヲ爲シタルハ他ノ官吏又ハ證據人ヨリ其相當ナル「」ヲ證ス可シ

第二十六條 報道者ハ他人ヲシテ作ラシムルカ又ハ税關ニ依頼シテ作りタル場合ニ於テモ其報道ノ責ヲ負フ可シ並ニ荷物運送人及ヒ受取人ハ其増補改正ノ責ヲ負フ可シ

改正ヲ爲シタルハ其前ノ報道書ハ廢棄トス

第二十七條 報道ヲ怠(第三十九條第六十三條第六十六條第七十五條第八十一條)リタルハ其物件ヲ税關ニ留置キ又ハ税關ノ監督ニ付ス可シ(持來ル「」能ハサル物件)但其費用及ヒ損害ハ關係者ニテ負擔ス可シ

荷物運送者(フヲフトブリーフ)又ハ其荷物ヲ記シタル他ノ書面ヲ

有セサルカ又ハ其書面ノ不十分ニシテ報道書ヲ作ルコト能ハサルキ
又ハ其書面ノ事柄ニ疑惑アリ且荷物運送人ニ於テ其荷物ノ詳細ヲ
知ラサルカ爲メ報道書ヲ作り又ハ他人ヲシテ作ラシムルコト能ハス
且荷物受取人ヨリモ報道ヲ爲サ、ルキ荷物運送人ニ於テ最高ノ輸
入税ヲ拂フコトヲ承諾セサレハ検査證又ハ其他ノ書面若クハ口書ヲ
以テ(報道書ヲ作ル)コト能ハサルカ爲メ)検査ヲ爲スコキコトノ申立ヲ
爲スコシ然ル後税關ニ於テ特別検査(第二十八條)ヲ爲スコシ其檢
査證ニハ荷物運送人モ共ニ手署シテ検査ヲ爲シタルコトノ正當ナル
責ヲ負フ可シ此場合ニ於テハ荷物運送人及ヒ受取人ハ後ニ輸入シ
タル報道書ヲ備フル荷物ヲ先キニ検査セシメ且其時間其荷物ヲ自

己ノ費用ヲ以テ監督セラル可シ

第二十八條 (検査) (一般ト特別トアリ) 税關ノ検査ハ一般ノ検査ヲ

爲スコアリ又ハ特別ノ検査ヲ爲スコアリ一般ノ検査ハ荷物ノ員數
記號詰方目方ヲ検査スルコトニシテ荷物ヲ披キ検査セス特別ノ検査
ハ以上ノ外ニ荷物ヲ披キ其物件ノ種類員數ヲ検査スコシ

第二十九條 (總目方風袋) 目方正味ノ目方(トウモロコシ)特別ノ検査ニ於テハ總

目方ノミヲ検査スルコトアリ又正味ノ目方ヲ検査スルコトアリ
總目方トハ詰メタル儘ノ物品ノ目方ヲ云フ故ニ保存ノ爲メノ通常
ノ上覆共ノ目方並ニ運送ノ爲メノ別段ノ上覆共ノ目方ヲ云フナリ
運送ノ爲メニ必用ナル上覆ノ目方ヲ「風袋」ト云フ
運送ノ爲メ及ヒ保存ノ爲メノ上覆ノ同物ナルキ例ヘハ砂糖蜜等ノ

上覆ハ(尋常ノ桶ナリ)其上覆ノ目方モ亦風袋「ター」ト稱ス

正味ノ目方トハ總目方ヨリ「ター」ノ目方ヲ引キタルモノヲ云フ

物品ヲ堅固ニスルカ爲メニ必要ナル輕小ノ直接ノ上覆(德利紙
厚板紙系等)ハ正味ノ目方ヲ懸クルル之ヲ引キ去ラス又其物品ニ
混シタル不潔物及ヒ異ナリタル交シリ物ハ之ヲ引キ去ラス但水上
ヨリ輸入シタル物件ハ此限ニ在ラス例ヘハ難船ノ爲メ水ニ浸シタ
ルカ又ハ他ノ物質ノ混同シテ物品ノ目方ヲ増シタルルハ物品ノ目
方ヨリ水等ノ目方ニ應スル分ヲ引去ル可シ税關ノ監督ノ上其物品
ヲ乾曝シタル後其目方ヲ量ル可シ
如何ナル物件ハ總目方ニ因ル可キカ又如何ナル物件ハ正味ノ目方
ニ因ル可ヤハ税表ニ定ム可シ

正味ノ目方ニ税ヲ課ス可キ物品ニアリテハ税表ニ(現今ノ税表ニハ
シ舊税表ニハ風袋ヲ引クコアレハナリ)定メタル風袋ノ目方ヲ引クル又正味ノ目方ヲ
懸クルニハ物品(何ヤノ風袋ノ目方ヲ幾許引ノミヲ懸クルカ又ハ風
袋ノミヲ懸クルル)納稅者ノ選ニ任ス可シ流動物又ハ正味ノ目方ヲ
懸クル「難キ物品ニ於テハ其上覆カ運送及ヒ保存ノ爲メ同一ナル
物ナルヲ以テ税表ニ從ヒ風袋ノ目方ヲ定ムヘシ然ルルハ納稅者ハ
之ニ對シ故障ヲ申立ル「得ス又税關ハ其物品ノ詰メ方ノ非常ナ
ルルカ又ハ税表ニ掲ケタル風袋ノ目方ヨリ異ナル「ヲ察シタルル
ハ正味ノ目方ヨリ異ナル「ヲ察シタルルハ正味ノ目方ヲ懸クル權
アリ

第三十條 (試ノ爲メノ検査) 歐箱アル物ヲ其一物品ノ詳細報道ヲ爲

國境稅運邦稅法

シタルルハ(第二十二條)試ノ檢査ト報道書ニ掲ケタル事柄ト相合同シタルルハ總体ノ稅ヲ確定スルカ又ハ其檢査ヲ他ニ及スコトヲ得
 第二十七條ノ場合(取押タルルハ試ノ檢査ヲ爲スコトヲ得ス必ス一切ノ檢査ヲ爲スコトヲ云フ)ニ於テハ試ノ檢査ヲ爲スコカラス
 第三十一條 (稅ヲ納ムル者ノ義務)稅ヲ納ムル者ハ直チニ其物品ノ檢査ヲ爲シ得可キ様ニ之ヲ差出ス可シ又稅關ノ命令ニ因テハ自己ノ損害費用ヲ以テ更ニ檢査ニ必要ナル手數ヲ爲シ又ハ爲サシム可シ

物品ヲ出シ又ハ詰ムルコトハ稅關ノ命令アリシ後之ヲ爲スコシ

第三十二條

(國境ニテ稅ヲ取立ル物品ノ取扱方)國境ニテ稅ヲ取立

ルルハ特別ノ檢査ヲ爲スコシ(第二十八條ヨリ第三十條マテ)國境

ニテ稅ヲ取立ルルル又ハ物品ヲ届出テ(第三十三條)國內ノ稅關ニ於テ稅ヲ取立ルルルハ檢査シタル物品ノ數及ヒ種類ニ從テ稅ヲ課ス可シ但難船ニ遭ヒタル荷物(第二十九條)ハ此限ニ在ラス檢査ノ上送狀ヲ添ヘタル物品ニ付テハ第四十七條ニ從フ可シ

其報道者ヨリ荷物ノ全部又ハ一部ヲ特別ノ檢査ニ付セサルコトヲ願出テ稅表ニ定メタル最高ノ稅額ヲ拂フ可キルルハ之ヲ聞届クルコトヲ得但一箇コトニ課スル稅ヲ避クル爲メナルカ又ハ各連邦ノ法律ヲ犯ス可キ疑ノアルルルハ此限ニ在ラス例ヘハ偽造ノ寶貨ヲ輸入スルノ疑アルルルハ必ス檢査ヲ爲シ場合ニ因テハ其物ヲ取押フ可シ

第三十三條

(國境ヨリ國內ノ稅關ニ送付スルカ爲メニ届出テ又ハ

經過ス可キ物品ノ取扱方届出タルコトノ取扱方送狀ノ取扱方荷物ノ

目錄ヲ作ルコト國境稅關ヨリ物品ニ稅ヲ課セスシテ檢査ノ爲メ國內ノ稅關ニ送付ス可キカ又ハ經過セシム可キハ屆出ノ手續(第三十八條第五十二條第八十三條)ヲ爲ス可シ然ルハ國境ノ稅關ニテ爲ス可キ檢査(報道及ヒ檢査)ヲ國內ノ稅關ニテ爲サシムルカ及ヒ輸入シタル物品ニ附添人ヲ付シテ輸出セシム可シ又ハ國境稅關ヨリ荷物目錄又ハ送狀(稅關ニテ作ルモノ)ヲ交付ス可シ送狀ハ第一號ト第二號トアリ第一號ノ送狀及ヒ之ニ等シキ性質ヲ有スル稅關ヨリ作りタル書面又ハ荷物目錄ハ其輸入シタル物品ヲ國內ノ差向ケ地方ニ稅道ヲ經テ達セシコト又ハ其物品ヲ輸出スルコトヲ保證スル爲メナルモノナリ第二號ノ送狀ハ特別ノ檢査ニ因テ確定シタル稅高ヲ保證シタル上他ノ稅關ニテ取立ツ可キコトヲ命スル爲メナルモノナリ

ルモノナリ

第三十四條 (輸出稅ヲ拂フ可キ輸出品ノ取扱方)輸出稅ヲ拂フ可キ輸出品ニアリテハ其員數及ヒ種類ヲ確定スルコト並ニ其稅ヲ課スルコトハ荷物運送人ノ選ニ任カセ輸出スル國境稅關ニ於テ之ヲ爲スカ又ハ國內ノ管轄稅關ニ於テ之ヲ爲ス可シ但國內ニ於テ爲シタルハ國境稅關ニ於テ唯タ檢査ヲ爲ス可シ鐵道及ヒ海上ヨリ輸出スルコトニ付テハ別段ノ規則ニ從フ可シ(第七十一條第八十八條)

第三十五條 (輸出入ノ道路ノ異ナルニ因リ檢査ノ異ナルコト)物品ノ輸出入及ヒ經過ニ關スル檢査手續ハ公道川堀割鐵道又ハ海上ヨリ輸出入スルニ從テ自ラ差異アリ

第六 公道川堀割ヨリ物品ヲ輸出入及ヒ經過セシムル規則

第三十六條 (物品輸入國境ヲ越エテ輸入スル手續) 國境稅經界ヨリ
國境稅關ニ至ルマテノ道ハ稅道ヲ離レズ隨意ニ停滯スルコナリ且
クレンツツラフメント
荷物ヲ變セスシテ運送ス可シ

第三十七條 (國境稅關又ハ届出所ニ届出ルコト) 荷物運送人ハ都テ荷
物ニ關スル書類ヲ國境稅關ニ差出ス可シ

第三十八條 國境ト國境稅關トノ間ニ届出所ヲ設置シタル所ニ於テハ
アインシャクボスト
荷物運送人カ荷物ニ關スル書類ヲ届出所ニ差出スヘシ其書類ハ荷物
運送人ノ面前ニ於テ封印シ國境稅關ニ宛テ記名シ國境監督官吏ニ
交付ス可シ監督官吏ハ國境稅關マテ其車又ハ船ニ附添ヒ行ク可シ

第三十九條 (國境ニテ稅ヲ取立ル手續) 國境ニ於テ稅ヲ拂フ可キ時
ハ其荷物ノ國境稅關ニ到着シタル後直チニ第二十二條以下ノ規則

ニ從テ詳細ノ報道ヲ爲ス可シ但第二十七條ニ從テ檢査ヲ爲ス可キ
申立ヲ爲シタル時ハ此限ニ在ラス然ル後特別ノ檢査(第二十八條ヨ
リ第三十條マテ)ヲ爲シ直チニ輸入稅(第三十二條)ヲ取立ルコトアリ
已ニ拂フ可キ輸入稅ニ付テハ稅關ヨリ其受領書ヲ交付ス可シ
報道者ハ其報道ノ正當ナルコト並ニ荷物ノ員數種類物品ノ性質員數
ニ付キ其責ヲ負フ可シ併ナカラ檢査ノ時ニ報道シタル目方ニ相違
アル時ハ各荷物ニ付キ又ハ一荷ニ詰メタル稅額ノ異ナル物品ハ一
荷ニ付キ又ハ一纏メニ檢査シタル同名ノ荷物ニ付キ目方百分ノ十
ヲ越エサル時ハ其相違ヲ罰ス可カラズ

第四十條 (國境官庫ニ荷物ヲ積置クコト) 國境ノ倉庫ヲ設クル權(第
クレンツツインカンクノスト
九十七條)ヲ有スルカ又ハ必要ナル倉庫ヲ設ケ(第百五條)タル所

ニ於テハ其物品ヲ倉庫ニ積置クヲ得

其検査ハ倉庫規則ニ從テ之ヲ爲ス可シ

第四十一條

(國境ヨリ物品ヲ國內ノ税關ニ送付スルカ又ハ經過セ

シムル手續送狀第一)國境ニ於テ税ヲ課セスシテ其物品ヲ検査ノ

爲メ國內ノ税關ニ送付ス可キカ又ハ其物品ヲ經過セシムルハ詳

細ニ報道セシム可シ同種類ノ物品ヲ同所ニ運送スルハ其總目方

ヲ報道書ニ記載スルヲ以テ足レリトス

國境税關ニ於ケル検査ハ一般ノ検査ナリ但特別ノ検査ヲ爲ス可キ

事由アルカ又ハ關係者ヨリシテ特別検査ヲ申立タルハ此限ニ在

ラス然ル後其物品ヲ封シ送狀第一ヲ交付ス可シ其送狀ニハ報道書

又ハ検査ニ從テ荷物ノ員數其記號其封シ方荷物請取人ノ氏名住所

國內税關並ニ差向ケ地ニ到着ス可キ期限ヲ掲載ス可シ

荷物ノ目方ヲ確定スルニハ稀ニハ試ミニ(一ニ箱ヲ)懸ケタル目方

ニ因テ確定スルヲ得但試ミニ懸ケタル荷物ノ相違カ報道書ノ目

方百分ノ二分ヲ越エサルハニ限リ確定スルヲ得

船又ハ車ニ積込ミ輸入シタル物品ニシテ荷卸ヲ爲サ、レハ其検査

ヲ爲ス可シ能ハサル場合ニハ検査ヲ爲サス報道書ニ因テ送狀ヲ作リ

交付ス可シ但附添人ヲ附クルカ又ハ慥カナル封印ヲ作ルヲ得ル

ハニ限ル可シ

關係者ノ申立ニ因テハ報道書ニ掲クル無税ノ物品タリトモ送狀第

一ヲ交付スルヲ得

第四十二條 詳細ノ報道ナキハ通常國境税關ニ於テ特別ノ検査ヲ

爲ス可シ併ナカラ報道書ニ物品ノ種類ヲ俗語ノ用ヒ方又ハ商業上ノ用ヒ方ニ因テ一般ニ掲ケタルカ(酒トカ)又ハ一荷ニ詰メタル税額ノ異ナル各物品ノ正味ノ目方ヲ掲ケサルハ是等ノ不十分ナル所ハ其儘ニ爲シ其物品ニ封印ヲ付クルヲ得ルカ又ハ附添人ヲ付スルヲ得ルハ特別ノ検査ヲ爲サスシテ送狀第一ヲ交付スルヲ得

第四十三條 (封印ヲ付クル) 封印ハ通常荷物ニ封印ス可キモノトス併ナカラ國境税關ノ見込ニ因テハ車又ハ船ニ封印スルヲ得
(第九十四條ヨリ第九十六條マテ) 特別ノ検査ヲ爲シタル物品ニハ關係者ノ申立ナケレハ封印ヲ付クルヲ要セス但運送中其物品ヲ他物ト交換スルノ恐レナキハニ限ル可シ

第四十四條 (送狀ヲ求ムル者ノ義務) 送狀第一ヲ求メテ之ヲ受ケタル者ハ其送狀ニ手署シ送狀ニ掲ケタル物品ノ性質及ヒ員數ヲ變セスシテ一定ノ時間内ニ一定ノ地方ニ於テ検査ヲ受ク可キ義務ヲ負フ可シ並ニ其物品ノ輸入税ヲ拂フ可キ義務アリ若シ特別ノ検査ヲ以テ其種類ヲ確定セサルカ又ハ報道書ニ無税タリシ物品ト掲ケタルハ税表ニ掲ケタル最高ノ税ヲ拂フ可キ義務アリ
荷物運送人ハ物品ヲ變セスシテ差向ケ地ニ運送シ且検査ヲ受ク可キ税關ニ送狀ヲ差出ス可シ又送狀ヲ差出スマテハ付ケタル封印ヲ其儘保存シ置ク可シ

第四十五條 (國境税ヲ保證スル) 國境税ハ抵當物又ハ慥ナル證據人一人ヲ以テ保證ス可シ但其證據人ハ獨立シテ其義務ヲ負擔シ本

爲ス可シ併ナカラ報道書ニ物品ノ種類ヲ俗語ノ用ヒ方又ハ商業上ノ用ヒ方ニ因テ一般ニ掲ケタルカ(酒トカ)又ハ一荷ニ詰メタル税額ノ異ナル各物品ノ正味ノ目方ヲ掲ケサルハ是等ノ不十分ナル所ハ其儘ニ爲シ其物品ニ封印ヲ付クルヲ得ルカ又ハ附添人ヲ付スルヲ得ルハ特別ノ検査ヲ爲サスシテ送狀第一ヲ交付スルヲ得

第四十三條 (封印ヲ付クル) 封印ハ通常荷物ニ封印ス可キモノトス併ナカラ國境税關ノ見込ニ因テハ車又ハ船ニ封印スルヲ得
(第九十四條ヨリ第九十六條マテ) 特別ノ検査ヲ爲シタル物品ニハ關係者ノ申立ナケレハ封印ヲ付クルヲ要セス但運送中其物品ヲ他物ト交換スルノ恐レナキハニ限ル可シ

第四十四條 (送狀ヲ求ムル者ノ義務) 送狀第一ヲ求メテ之ヲ受ケタル者ハ其送狀ニ手署シ送狀ニ掲ケタル物品ノ性質及ヒ員數ヲ變セスシテ一定ノ時間内ニ一定ノ地方ニ於テ検査ヲ受ク可キ義務ヲ負フ可シ並ニ其物品ノ輸入税ヲ拂フ可キ義務アリ若シ特別ノ検査ヲ以テ其種類ヲ確定セサルカ又ハ報道書ニ無税タリシ物品ト掲ケタルハ税表ニ掲ケタル最高ノ税ヲ拂フ可キ義務アリ
荷物運送人ハ物品ヲ變セスシテ差向ケ地ニ運送シ且検査ヲ受ク可キ税關ニ送狀ヲ差出ス可シ又送狀ヲ差出スマテハ付ケタル封印ヲ其儘保存シ置ク可シ

第四十五條 (國境税ヲ保證スル) 國境税ハ抵當物又ハ慥ナル證據人一人ヲ以テ保證ス可シ但其證據人ハ獨立シテ其義務ヲ負擔シ本

人ヲ補助スルノミノ證據人タル可カラス
其抵當物又ハ其保證人ノ保證ハ物品ノ種類ヲ確定シタルハ夫レ
ニ應スル税高ニ限ル可シ若シ確定セサルハ税表ノ最高ノ價額ニ
及フ可シ

國境税關ハ熟知セル正當ナル人ニハ内外人ヲ問ハス其保證ヲ爲サ
シメサルヲ得

第四十六條 (送狀ヲ受ケタル者ヨリ其義務ヲ盡シタルヲ證スル
一)送狀第一號ニ因テ負擔シタル義務ハ其送狀ニ掲ケタル官署ヨ
リ全ク義務ヲ盡シタルヲ證シ抵當物又ハ證據人ヲ解キタル後始
テ消滅スル者トス又物品所分者ノ申立ニ因テハ其送狀ヲ受ケタル
官署ヨリ其送狀ヲ他ノ管轄官署ニ送付シテ以上ノ手續ヲ爲サシム

ルヲ得

送狀ニ掲ケタル物品ノ種類正味目方ハ未タ特別ノ検査ヲ終ラサル
間ハ荷物運送人又ハ受取人ハ差向ケ地方ニ於テ其報道書ヲ補ヒ又
ハ變更スルヲ得(第二十三條)改正シタル報道ノ責任並ニ改正ノ
效力ニ付テハ第二十六條ノ規則ニ從フ可シ

第四十七條 (税ヲ拂フ可キ目方)輸入ノ時ニ秤定シテ送狀ニ掲ケタ
ル物品ノ目方ハ其後ノ検査又ハ税ヲ課スルノ原トナル可シ但檢
査ニ誤アルカ又ハ税ヲ避クルヲ試ミタルニ因リ更ニ改懸ケタル
目方カ輸入ノ時ニ秤定シタルヨリ異ナリタルハ此限ニ在ラス
然ナカラ官封ヲ付シ附添人ヲシテ送りタル物品ノ差向地方ニ於テ
輸入ノ時秤定シタル目方ヨリ減少シタルハ其減シタル目方ニハ

税ヲ課セス現在ノ目方ニ因テ検査及ヒ税ヲ課ス可シ但官封ノ破損
 スルコトナク且天然力ニ因テ其目方ヲ減少シタルモノニシテ私ニ其
 物品ノ一部ヲ除キタル疑ナキハニ限ル可シ又ハ經過ノ検査ヲ爲シ
 タル物品ノ輸出ノ片以上ノ事由ニ因テ其送狀ニ掲ケタル目方ヨリ
 減シタル片モ其減シタル目方ヨリ其輸入税ヲ取立ツ可カラズ
 輸入ノ片試ニ懸ケタル片ハ(第四十一條)報道書ニ掲ケタル目方ヲ
 以テ評定シタルモノトス

輸入ノ片全ク懸ケサル片ハ(第四十一條)差向ケ地方ニ於テ評定シ
 タル目方ニ從ヒ検査及ヒ税ヲ課ス可シ但官封ノ破損スルコトナク且
 私ニ除キタルノ疑ナキハニ限ル可シ又ハ此場合ニ於テ聞糺シタル
 後報道書ニ掲ケタル目方ニ因テ検査及ヒ税ヲ課スルコトヲ得

第四十八條 (運輸中物品ノ消盡腐敗破壊シタルモノ、税ヲ免スル

一)送狀第一號ヲ添ヘタル物品ノ運送中事故アリテ消盡シタルコ
 ノ明カナル片ハ其税ヲ免ス可シ

又官封ヲ付シ又ハ附添人ヲ付シタル物品ノ腐敗スルカ又ハ破壊シ
 テ差向ケ地ニ到着シタル片ハ其税ヲ免ス可シ但官封ノ破損セサル
 カ又ハ現ニ附添人ヲ付シタル片ニ限ル可シ腐敗シタル物品ハ監督
 ノ上之ヲ廢棄ス可シ破壊シタル物品ハ場合ニ因テハ更ニ用ユ可カ
 ラサル様ニ微塵ニ摧ク可シ

第四十九條 (運送ノ遲滯スルコト)連邦内運送中天災又ハ非常ノ變ニ
 因リ延滞シテ送狀ニ定ムル時間内ニ差向ケ地(第四十一條二項)ニ
 達スルコト能ハサル片ハ荷物運送人ヨリ最近ノ税關ニ其旨ヲ届出ツ

可キノ義務アリ税關ハ送狀ニ其延滞シタルコトヲ證シ又ハ其運送ヲ中止ス可キトハ其物品ヲ監守ス可シ

第五十條 (荷物ノ差向ケ地ヲ變シタルコト又ハ荷物ヲ分配スルコト)送狀ニ掲クル差向ケ地ノ變シタルトハ荷物運送人ヨリ最近ノ税關ニ送狀ヲ差出ス可シ税關ハ其送狀ニ差向ケ地及ヒ荷物受取人ノ變リタルコトヲ證ス可シ送狀第一號ニ掲ケタル荷物ヲ途中ニテ配分ス可キ場合ニハ其物品ヲ最近ノ税關本局ニ差出スカ又ハ送狀ヲ交付シ得可キ管轄官署ニ差出ス可シ其官署ハ監督ノ上物品ヲ配分シタル後新タニ送狀ヲ交付ス可シ

又各荷物ニ入りタル物品モ之ヲ配分スルコトヲ得

第五十一條 (送狀第二號)報道者ノ申立ニ因リ特別ノ検査ヲ爲シタ

ル官署ヨリ他ノ管轄官署ニ於テ其税ヲ課ス可キトハ送狀第二號ヲ(第三十三條)交付ス可シ其送狀ニハ検査シタル物品ノ員數種類物品受取人ノ氏名住所保證及ヒ送狀ヲ送出すル儘ス可キ義務(第十四條)並ニ税ヲ拂フ可キ期限ヲ記載ス可シ但送狀第二號ハ其物品ノ税五「ターレル」以上ノトニ限り之ヲ交付ス可シ

第五十二條 (届出ノ手續)上等會計官ノ許可ニ因テハ貿易上必要ナル地方ニ於テ差添人ヲ付ケ國境ノ税關ヨリシテ届出ノ手續ニヨリ物品ヲ國內ノ税關ニ送達スルコトヲ得此場合ニ於ケル検査ハ第三十八條ニ從テ爲ス可シ(物品運送人ヨリ荷物ニ關スル書類ヲ國境税關ニ届出ルコト)

第五十三條 (㊦)直チニ經過スルコト(㊧)輸出税ヲ拂フ可キ物品(輸出税

ヲ拂フ可キ物品ニ付キ直接經過ノ報道ヲ爲シタルハ其物品ヲ輸入スル際ニ特別ノ検査ヲ受ク可キモノニハ送狀ヲ交付スルニ及ハス

送狀ノ代リニ報道書ノ副本ニ於テ封印ヲ爲シタルコト及ヒ輸出ス可キ期限税關ヲ記載ス可シ

第五十四條 (㊦)近キ道路ニ因テ經過スルコト(連邦内ノ近キ道路ニ因テ經過ス可キ物品ニハ上等會計官ノ指令ニ因リ輕便ナル検査ヲ爲ス可キヲ得

第五十五條 (㊧)物品輸出、輸出税ヲ拂フ可キ物品取扱方(輸出税ヲ拂フ可キ物品ヲ輸出スルニハ第二十二條ニ從テ詳細ノ報道ヲ爲スヘシ然ル後特別ノ検査ヲ爲シ其税ヲ課ス可シ税ヲ納メタルハ受

領書ヲ交付ス可シ國內ノ税關ニ於テ輸出税ヲ拂ヒタルハ其受領書ニ荷物運送人ノ申立タル輸出スル期限ト道路トヲ記載ス可シ

輸出ハ第二十一條ノ場合ノ外ハ國境税關ヲ經テ之ヲ爲シ其受領書(國內税關ヨリ交付シタルモノ)ヲ税關ニ示ス可シ

第五十六條 (輸出ヲ證ス可キ物品ノ取扱方)輸出ヲ證ス可キ物品ハ荷物運送人ヨリ送狀ニ掲ケタル税關ニ之ヲ差出ス可シ税關ハ送狀ニ掲ケタル物品ナルヤ否ノ検査ヲ爲ス可シ封印ヲ付シタル物品ハ輸出ノ時通常封印ヲ検査シ破開スルヲ以テ足レリトス
若シ其物品ヲ税關ニ差出スコトヲ怠リタルハ税關ノ見込ニ因リ之ヲ差出サシムルヤ否ヲ定ム可シ

第五十七條 (三)別段ノ條約ヲ爲シタル川ヲ經テ輸入經過スルコト別段ノ條約(政府間ノ條約)ヲ爲シタル川ヲ經テ輸入經過スルホハ其條約ニ定メタル科稅手續ニ從フ可シ

第五十八條 (ホ)送狀規則(送狀第一號第二號ヲ交付シ又ハ差出ス手續ニ付テハ別段ノ規則ヲ發ス可シ

第七 鐵道ニ因テ物品ヲ輸出入及ヒ經過セシムル規則

第五十九條 (一)鐵道所有者ノ一般ノ義務(一)檢査スル爲メ及ヒ直チニ檢査スルコト能ハサル物品ヲ積置ク爲メ必要ナル場所(鐵道所有者ハ一定ノ停車場ニ於テ稅官ノ檢査ヲ爲ス爲メ及ヒ直チニ檢査ヲ爲スコト能ハサル物品ヲ一時積置ク爲メ必要ナル場所ヲ設ク可シ又稅關ノ命令ニ因テハ必要ナル建築ヲ爲ス可シ

第六十條 (二)稅官ニ對スル義務(鐵道ニ因テ爲ス物品ノ通行及ヒ檢査場ヲ監督シ且其監督ニ付キ鐵道ノ官吏ニ命令スル權アル稅官ハ檢査又ハ搜索ノ爲メ停車場ニ於テ其車ヲ職務上必要ト認メタル時間差止ムルコトヲ得

車ニ附添フカ又ハ停車場ニ居ル官吏ハ前項ノ場合ニ於テ稅官ヨリ問ヒタルコトニ付キ其詳細ヲ陳述シ且其補助ヲ爲ス可キ義務アリ又稅官ヲシテ荷物送狀及ヒ荷物運送ニ關スル簿冊ヲ檢閲セシム可シ

然ノミナラス稅官ハ法律ニ定メタル時刻内直ニ停車場ノ建築内ニ入り必要ナル搜索ヲ爲スコトヲ得但其建築物ハ鐵道ノ用ニ供スルモノニシテ人ノ住居ト爲ルモノニ非サル可シ又夜間通行ヲ爲シタル